

授業科目名	心理学AB
-------	-------

履修者数	71
------	----

有効回答数	69
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.74	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.09
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.80	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.96
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.81	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.86	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.87
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.74	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.87
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.67	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.20
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.96	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.25
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.59	18	提出物の方法・期限を守った。	4.94
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.64	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.84
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.74	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.84

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

他者理解、自己理解に役立つ心理学の基礎的知識の理解、及び心理学的観点からの、ものの考え方の基礎を理解することが目的であるが、おおむね達成できたと考えている。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

結果は、おおむね肯定的なものが多かった。ただ、声量の大きさをうるさく感じた学生がいたことやプリントの量が多かった点を問題と捉え、それらについては今後の改善に向け取り組みたい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

配布プリントの内容と量の精査を行うこととする。大きな声で聞き取りやすいという意見もあるが、うるさいときもあったとの意見も踏まえ、声の加減に気を付ける。

授業科目名	国語表現法
-------	-------

履修者数	71
------	----

有効回答数	69
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.93	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.46
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.88	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.91
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.86	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.36
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.81	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.90
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.83	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.78
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.83	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.67
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.84	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.64
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.81	18	提出物の方法・期限を守った。	4.87
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.71	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.80
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.81	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.87

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

毎回言語事項の小テストを実施し直ちに解説することで、慣用句や語彙の知識をそのつど再確認して社会人としての基本的な知識を身に着けることができた。また、自分自身を深く見つめて様々な文章表現をしたり、友人や社会の出来事に目を向けてものを考え、それをわかりやすい文章で表現できるよう実践的な作文表現演習を実施した。その際、課題も極力楽しいテーマを設定するなどの工夫をし、書きたいという創作意欲を高めることで、積極的に課題に取り組むことができたと思われる。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

表現活動の実践において、その都度「執筆のポイント」や「表現の方向と留意点」「適切な表現ルール」等を簡潔な資料として作成配布し、それをもとに十分な事前解説をして準備検討する時間を与えて創作させた。その間、学生相互の教え合いや相談も自由に行われ、表現実践の要領についての質問もかなり自由な発言が見られた。また、教員も机間巡視を重ね個別指導を数多くするように心がけたので、作業開始の前半はかなり私語が多いと感じられることもあったようである。しかし、後半になって各自が実際に執筆に取り掛かる頃には多数が真剣に取り組む姿勢が見られ、ほぼすべての学生が毎時間の提出課題を時間内にこなすことができた。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

ほぼ全ての講義の終了時に課題の完成と提出を課したが、提出物については次の講義までに評価・添削等を済ませて返却することとした。これによって自己の作品の完成度を記憶の新鮮なうちに確認させるとともにその良否長短や不十分な点を理解させて、表現実践のポイントの確実な定着や表現力の向上が一層図られるようにした。また、提出作品中の優秀作、佳作をいくつか印刷配布して顕彰することで能力の高い学生に対しても前向きな自信とやる気を抱かせるようにした。さらに、失敗例や誤りの典型的なものも匿名のまま集約してプリントし解説を加えることで、表現力の確実な涵養につながるようにした。

授業科目名	コミュニケーション論
-------	------------

履修者数	56
------	----

有効回答数	54
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.83	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.68
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.69	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.87
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.63	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.20
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.46	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.85
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.52	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.74
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.43	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.06
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.52	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.37
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.46	18	提出物の方法・期限を守った。	4.87
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.43	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.78
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.31	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.55

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

コミュニケーションの基礎理論を学び、その上で日常場面などで、より分かり合えるコミュニケーションができるようになることが目標であるが概ね達成できた。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

授業中の私語については再三の注意にもかかわらず、少し続いていたのは残念であった。座席指定等の対応を考えたい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

毎回の授業振り返りを実施したが、個々の学生の理解程度、改善点意欲等がわかり有効であるので引き続き実施する。

授業科目名	音楽概論
-------	------

履修者数	31
------	----

有効回答数	25
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.68	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.76
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.92	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.96
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.92	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.52
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.88	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.96	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.96
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.88	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.92
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.96	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.76
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.88	18	提出物の方法・期限を守った。	4.96
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.92	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.92
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.92	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.92

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

西洋音楽史を概観し、さまざまな時代区分のお学出来特徴を理解するとともに分析的な音楽聴取を目的とする。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

今後も学生にとって馴染みの薄い音楽をわかりやすく楽しく授業するように努力したい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

音楽史、社会史、哲学史などを織り交ぜた講義を行っており、学生の興味が薄れないよう映像資料や音源資料を有効に活用したい。

授業科目名	日本国憲法
-------	-------

履修者数	70
------	----

有効回答数	64
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.45	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.69
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.81	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.77
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.81	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.59
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.84	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.84
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.70	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.86
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.70	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.64
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.80	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.67
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.56	18	提出物の方法・期限を守った。	4.91
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.63	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.84
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.75	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.70

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

日本国憲法の3大原理である「基本的人権の尊重」、「国民主権」、「平和主義」を基軸としながら、「個人の尊重」を実現するために人権補法があることを理解させるように努めた。その際、平和主義や民主主義は、個人の尊重を実現する上での手段に過ぎないことを理解できるようにした。さらに、民主主義や、それに基づく統治機構は、人権保障のために機能している点を理解することを目的とする。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

日本国憲法の3大原理や統治機構について、関連する判例や新聞記事を素材として取り上げながら、学生の理解が深まるように配慮しながら授業を行った。しかし、テキストや判例に出てくる法律用語や、判例で採用されている最低限の学説の説明については、専門的過ぎて学生には分かり難い点が見受けられた。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

法律用語や判例・学説の解説については、必要最低限のものを厳選して話すようにして理解しやすいようにした。さらに、現代社会の憲法問題について、調べ学習を通して、問題の解決がどのように図られているのかや、人権感覚の理解を深められるようにしたい。

授業科目名	子どもと人権
-------	--------

履修者数	39
------	----

有効回答数	36
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.42	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.64
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.86	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.75
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.83	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.67
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.86	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.89
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.69	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.86
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.72	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.72
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.83	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.61
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.67	18	提出物の方法・期限を守った。	4.92
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.75	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.75
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.75	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.71

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

子どもを取り巻く国内、国外の問題を取り上げながら、子どもの権利や自由がどのように侵害・剥奪されているのかを概観し、これらへの対応を踏まえながら、最終的に子どもの最善の利益を保障するためには、社会全体としてどのような対応をするべきかについて、学生各自が自分の考えを論理的に説明できるようにすることを目的としている。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

子どもを取り巻く問題は多岐にわたっているため、どうしても虐待や子どもの貧困、子ども食堂といった学生が関心を持っているトピックとそれらの周辺のニュースを素材を中心に話をすることが多くなりがちだった。そのため、子どもの最善の利益の保障について考察する際、まず「子どもの権利条約」の理念の理解ができるようにした。そして、この条約が国内法の改正にどのような影響を与えているのかについての理解もできるように、関連するDVDや資料を配布して説明をするようにしたが、学生には話が多すぎて分かり難かった点もあったように思われるため、もう少し簡潔に、わかりやすい説明になるように工夫したいと思う。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

学生の意見や要望を最初だけでなく、所定のコマ数が終わった段階で何度か確認をするように努めた。ただ、取り上げて欲しいテーマは複数あるため、どうしても希望者の多いテーマを取り上げるようになってしまうが、なるべく関心を持てるような資料を用意するようにした。

授業科目名	自然科学概論
-------	--------

履修者数	31
------	----

有効回答数	31
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.90	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.84
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.77	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.90
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.81	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.55
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.77	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.87
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.84	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.84
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.87	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.65
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.84	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.58
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.77	18	提出物の方法・期限を守った。	4.84
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.77	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.90
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.84	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.87

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

--

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

--

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

--

授業科目名	体育講義
-------	------

履修者数	71
------	----

有効回答数	69
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.71	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.70
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.78	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.70
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.71	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.17
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.72	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.87
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.67	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.86
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.58	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.29
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.59	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.42
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.42	18	提出物の方法・期限を守った。	4.86
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.57	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.67
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.51	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.64

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

- ・人体の骨格・筋肉・内臓の基本的な部位の名称がおおよそ分かり、説明できる。
- ・健康の概念について理解し、説明できる。
- ・健康づくりの基本について理解し、説明できる。
- ・体力の構成について理解し、説明できる。
- ・自身の生活を振り返り、健康状態に合わせた維持増進の方法を考え、実践できる。

本授業では健康に関する正しい知識を学ぶとともに日常生活に反映させる知恵を養うことを目的とし、講義を中心にビデオ視聴や簡単な測定を取り入れ、授業を展開した。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

自由記述欄を見ると、授業内容について大変多くの記述がみられた。そのほとんどは、好意的な意見・感想等が寄せられていた。1名の学生から私語の注意について指摘があった。今年度の自由記述の多さは、最初の授業評価科目であり、1年生にとって初めての経験であったためと推測する。「1授業科目について」と「2担当教員について」の設問では、当該授業科目と全体の平均値の比較において、本科目はやや下回っているものの4点以上であった。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

学生の理解力に合わせた分かりやすい授業となるよう、さらに丁寧に学生の質問等を受け、授業を進めていきたい。

授業科目名	体育実技AB
-------	--------

履修者数	71
------	----

有効回答数	70
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.93	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.79
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.91	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.97
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.91	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.63
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.96	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.89
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.87	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.93
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.91	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.76
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.86	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.97
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.87	18	提出物の方法・期限を守った。	4.96
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.89	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.94
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.91	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.93

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

総合評価4.93は満足できる数値で科目の目的は、ある程度達成されたと感ずる。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

教員の熱意を感じたという項目で4.97という高い評価にも満足している。平均して思ったより評価が高く、最低が4.63(シラバスをよく読んだか)の項目があったので改善していきたい。

スポーツが得意な子と不得意な子、一人一人への対応をしっかりとしていきたい。

5.0をめざして、ケガのないよう更に注意しながら授業に取り組んでいきたい。

授業科目名	英語会話
-------	------

履修者数	21
------	----

有効回答数	21
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.95	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.76
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.95	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.86
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.95
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.81
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.81
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	4.90
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.90
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.95

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

新しいテキストブックを使用しました。
そのテキストについては、私も学生もとても良かったと評価しています。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

問題はないと考えます。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

CDを多く使用し、リスニングを強化したいと思っています。

授業科目名	中国語会話
-------	-------

履修者数	53
------	----

有効回答数	52
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.90
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.98	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.94
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.94	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.71
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.71
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.90	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.79
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.90	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.82
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.94	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.85
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.96	18	提出物の方法・期限を守った。	4.94
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.94	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.94
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.90	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.94

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

- ①中国語の声調、ピンインを理解すること
 ②正しい発音を身につけること
 ③基本的文法事項を身につけること
 などの学習目標は達成できたと考えられる。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

語学の授業としては、クラスの人数が多く発音や会話練習を細やかに指導できない点を克服するため、グループ別のアクティブラーニング方式を取り入れた。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

中国語のみならず異文化に興味をもつよう、中国の文化や歴史、日本との差異に関するトピックを毎回の講義の中に盛り込むようにした。

授業科目名	保育原理
-------	------

履修者数	71
------	----

有効回答数	70
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.90	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.79
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.71	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.70
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.56	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.53
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.81	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.96
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.69	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.84
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.80	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.51
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.64	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.80
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.70	18	提出物の方法・期限を守った。	4.79
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.69	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.87
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.71	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.86

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

授業科目の達成目標は、保育を理念・思想・制度など多面的に理解することであり、またそれらの学習を通して受講者が自分なりの保育観を持てるようにすることである。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

概ね良好な評価と思われるが、シラバスに関する項目の評価が低めに出ているので、その点の改善が必要と思われる。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

受講者に事前にシラバスの確認を促すことと、同時にシラバスに沿った授業を実施したい。

授業科目名	教育原理
-------	------

履修者数	71
------	----

有効回答数	70
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.90	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.80
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.84	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.87
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.87	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.49
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.89	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.93
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.86	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.93
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.89	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.57
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.86	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.77
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.94	18	提出物の方法・期限を守った。	4.90
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.94	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.84
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.89	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.89

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

--

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

--

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

--

授業科目名	社会福祉
-------	------

履修者数	71
------	----

有効回答数	70
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	3.70	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.33
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.36	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.34
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.39	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.33
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.53	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.76
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.04	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.67
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.31	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.29
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.23	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.16
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.14	18	提出物の方法・期限を守った。	4.71
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.14	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.49
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.24	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.43

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

現代社会における子どもやその保護者を取り巻く現状を含め、社会福祉や子どもの権利条約における基本的理念、歴史、社会保障制度、法と行財政、福祉専門職、実施機関について理解できるようにする。さらに、子ども家庭福祉だけでなく、障害者福祉、高齢者福祉、低所得者福祉、地域福祉、相談援助の分野についても理解できるようにする。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

社会福祉の基本的理念や福祉の各分野における専門用語は、学生にとっては、抽象的だったり覚えることが多かったりして分かり難いことが多かったと思われる。社会福祉全体を貫く基本的理念を共通の基軸としながら、その理念を実現するために社会福祉各分野の概要と関連性を理解できるような配慮が不足していた。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

学生に興味関心が持てるように、身近なトピックと関連させながら社会福祉全体を概観し、概要と関連性の理解や社会福祉制度がどのような経過をふまえて成立・展開してきたのか、さらその根底にある考え方の変遷について理解できるようにすることで、社会福祉の各分野に共通する理念を分かるようにしたい。

授業科目名	子ども家庭支援論
-------	----------

履修者数	71
------	----

有効回答数	69
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.99	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.96
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.90	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.97
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.87	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.54
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.96	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.91
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.93	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.96
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.97	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.74
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.93	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.81
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.96	18	提出物の方法・期限を守った。	4.94
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.99	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.94
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.93	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.97

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

--

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

--

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

--

授業科目名	社会的養護 I
-------	---------

履修者数	71
------	----

有効回答数	70
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	3.69	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.34
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.40	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.34
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.40	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.33
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.60	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.79
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.09	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.63
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.38	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.27
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.34	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.21
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.11	18	提出物の方法・期限を守った。	4.71
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.17	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.44
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.24	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.41

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

社会的養護は、2011年の「社会的養護の課題と将来像」、2016年の児童福祉法の改正、2017年の「新しい社会的養育ビジョン」の公表と大きな変革の時期を迎えている。この変革期において、子どもの虐待、子どもの貧困等、子どもが置かれている問題は深刻化・顕在化している。社会的養護は、どの子どもに対しても、それぞれの人格が尊重され、状況に応じた子どもの最善の利益を考慮し、子どもの健全育成が等しく確実に保障されることが求められる。しかしながら、何らかの事情で、安全かつ安心できる家庭環境を奪われたりどまることと判断される子どもが少なからず存在する。そのため、社会的養護に携わる関係者は、社会資源の活用と関係機関との連携・協働した取り組みが大切となる。その際、大幅な法改正や養育ビジョンをふまえた家庭養護への支援強化や改革、パーマネンシー保障としての特別養子縁組の推進が図られていることが理解できるようにする。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

社会的養護の理念と原理に基づいた社会的養護の基盤について、社会状況の変化と子どもの権利擁護や子どもの権利、親権と義務、措置制度、社会的養護の制度と法体系等をふまえながら工夫したい。とくに、児童虐待を受けた子どもは、児童福祉法の改正や養育ビジョン等により社会的養護そのもののあり方が施設養護を中心とする代替的養育から、里親やファミリーホームの養育への転換を目指している。この点を実現させるため、施設の小規模化や高機能化が求められ、家庭養育での養育を支援する役割を担っていることを理解させることが今一つ不十分だった。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

学生には、子どもを取り巻く社会的な問題と向き合わせながら、社会的養護の理念、制度、方法(実践)などの基本的内容の理解をふまえた保育士として、必要な人間性や専門性の向上を図れるように工夫をしていきたい。

授業科目名	保育者論
-------	------

履修者数	74
------	----

有効回答数	72
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.96	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.99	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.99	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.86
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.99	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.97
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.96	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.97
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.97	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.92
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.97	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.96
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.92	18	提出物の方法・期限を守った。	4.97
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.96	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.97
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.96	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.99

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

- ・子どもの発達を理解し、養護・教育を含めた保育者の職務と倫理観に基づき学ぶ意味を理解していた。
- ・現代社会における保育・子ども・家庭をとりまくさまざまな多様性について実習を重ねることに理解を深めていた。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

全体的に評価は安定しているが⑬に関してはその都度見直しを持ち説明するように改善した。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

昨年度から⑬に関してはその都度見直しを持ち説明するように改善したが、多様な学生を鑑み今後も工夫していきたい。

授業科目名	相談援助AB
-------	--------

履修者数	74
------	----

有効回答数	64
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.69	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.64
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.72	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.80
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.77	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.66
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.73	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.77
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.61	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.81
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.69	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.71
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.72	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.63
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.55	18	提出物の方法・期限を守った。	4.84
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.63	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.80
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.61	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.76

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

相談援助の知識と技術の理解を目標にしている。問題の課題とその背景の考察が目標である。

2 アンケート調査票の結果と問題点の考察

約5パーセントの学生が3レベルで理解が不十分である。

3改善の方法

具体的な理解はビデオを増やし活用を検討する。

授業科目名	保育の心理学 I
-------	----------

履修者数	71
------	----

有効回答数	68
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.73	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.82
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.82	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.93
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.85	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.56
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.90	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.91
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.73	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.91
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.85	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.66
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.82	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.75
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.62	18	提出物の方法・期限を守った。	4.93
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.85	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.93
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.81	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.90

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

保育での基本的な心理発達について講義する。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

学生の総合的な満足度は高い面があるがさらに深く学ぶにはバズセッションなど工夫をする必要がある。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

ビデオを取り入れているがそこらの発展でのバズセッション辺の移行が考えられる

授業科目名	保育の心理学ⅡAB
-------	-----------

履修者数	74
------	----

有効回答数	55
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.78	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.62
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.75	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.76
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.76	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.58
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.78	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.69
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.64	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.73
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.58	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.49
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.67	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.58
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.56	18	提出物の方法・期限を守った。	4.80
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.58	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.65
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.67	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.63

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

子供の心身の発達と援助の理解が目標である。外面からだけでなく、内面からの理解が必要であるが、個別的理解は想像力を必要とするのでやや難しい。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

約11パーセントの学生が3レベルでやや理解が不十分である。グループ討議の中にビデオも活用するなどが必要かもしれない。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

発達の部分ではビデオをいれる授業を検討する。

授業科目名	子どもの保健
-------	--------

履修者数	71
------	----

有効回答数	71
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.75	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.66
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.79	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.86
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.72	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.41
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.80	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.85
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.58	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.92
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.80	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.54
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.79	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.49
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.51	18	提出物の方法・期限を守った。	4.90
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.69	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.92
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.73	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.79

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

--

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

--

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

--

授業科目名	子どもの食と栄養AB
-------	------------

履修者数	74
------	----

有効回答数	68
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.79	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.90
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.91	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.96
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.91	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.85
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.96	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.91
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.76	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.94
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.93	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.90
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.93	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.88
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.78	18	提出物の方法・期限を守った。	4.93
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.82	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.97
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.90	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.90

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

- ・「子どもの発育発達に応じた食生活を理解する」「子どものための安心安全な食事を提供する」
- ・実習前に当番とともに食材を班ごとに分配する。全員揃ったら手洗い、身支度の確認、実習プリントを配付する。
- ・師範台で実習の手順、食材の取扱い等を説明する。各自プリントを参照し、必要に応じてメモを取る。
- ・班に分かれて調理する。
- ・試食、片付けののち、学習テーマおよび実習のポイントをまとめた学習プリントを配付し、説明する。
- ・各自補充献立を考えることにより、バランスの取れた食事を考える力が付き、献立の重要性を理解できるようになる。

二年前より実習前に実習プリント、実習後に学習プリントを配付し、技術と知識を別々に説明するようになってから学生の理解度が向上していると思われる。(授業評価のポイントも向上)

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

No.8「授業はわかりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた」の項目が一番低かったが、学生の感想に「話がくどい」「説明が長くて大変だった」というものもあり、対応の難しさを感じている。

師範台の後始末、見本の作成等教員一人で行っているため、実習の間は全体の見回りがあまりできない。もっと親身に対応してほしいという意見が出てくるのは仕方ないと思うが、こちらから行くのを待つのではなく、学生の方から積極的に質問等手をあげてほしい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

前年度に比べて全体的にポイントが大幅にアップしたのは、作業、学習両方のプリントの見直しをした成果と思われる。また「説明が長くて大変だった」と感じる学生もいたが、今まで以上に学生の反応を見ながら説明に時間をかけた。(学生の人数が減少したのも大きな理由の一つだと思います)

昨年は校外実習や、天候で休みになる学生も少なく毎回充実した内容だったと思っています。

授業科目名	子どもの保健ⅡAB
-------	-----------

履修者数	74
------	----

有効回答数	59
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.92	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.88
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.95	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.97
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.78
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.98	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.90
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.90	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.97
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.95	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.76
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.97	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.64
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.92	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.97	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.95
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.95	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.93

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

--

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

--

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

--

授業科目名	家庭支援論
-------	-------

履修者数	74
------	----

有効回答数	69
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.97	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.87
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.94	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.94
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.96	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.77
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.94	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.88
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.83	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.87
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.88	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.77
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.97	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.80
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.81	18	提出物の方法・期限を守った。	4.94
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.83	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.90
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.94	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.81

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

家庭支援の意義と役割について理解を深めると共に家庭支援のための法制度や社会資源を学び具体的な事例を通して援助の技術を保育の現場で活用できるように取り組むことができた。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

レポートに細かくコメントを書いて返却したり事例などを多く取り入れた授業を心掛け、わかりやすい内容を重点においたことでNo.7,8がアップにつながったように思う。これからもさらに学生が理解しやすく興味を持てるような授業を進めていきたい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

授業の評価がアップしたことは、わかりやすい事例や課題に対する個々へのコメントなどが受け入れられたように思う。

引き続きわかりやすい授業を心掛けていきたい。

授業科目名	保育内容総論 I AB
-------	-------------

履修者数	71
------	----

有効回答数	70
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.89	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.83
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.79	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.90
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.77	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.61
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.84	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.94
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.87	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.90
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.87	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.70
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.87	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.80
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.84	18	提出物の方法・期限を守った。	4.94
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.83	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.90
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.81	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.93

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

保育所保育指針、幼稚園教育要領にもとづく保育の基本と内容について、相互的・総合的に学ぶと共に、保育内容の多様な展開について実践と結びつけながら具体的に学ぶ。また、保育内容の歴史概観についても学習する。模擬保育では、求められる保育者像について考えながら、学生が自己課題を認識できるようにしたい。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

シラバスに関する項目の点数が低かった。授業内容が多すぎたためシラバス通り授業を進められなかった。授業内容を精査したい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

各授業の学習内容を明確にする。学生には毎回授業の振り返りを提出させ、各授業での達成目標の把握する。

授業科目名	健康指導法AB
-------	---------

履修者数	71
------	----

有効回答数	70
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.94	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.94
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.90	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.97
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.87	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.54
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.97	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.96
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.94	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.96
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.96	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.76
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.96	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.81
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.99	18	提出物の方法・期限を守った。	4.96
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.99	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.96
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.99	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.97

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

--

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

--

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

--

授業科目名	人間関係指導法AB
-------	-----------

履修者数	71
------	----

有効回答数	67
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.88	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.93
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.91	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.95
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.96	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.67
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.94	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.94
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.85	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.93
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.94	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.85
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.87	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.91
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.63	18	提出物の方法・期限を守った。	4.99
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.79	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.96
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.82	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.96

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

・幼稚園教育要領に示された領域人間関係のねらい及び内容について理解を深める。
 ・さらに乳幼児の発達を理解し子どもが主体的に対話的に遊びを通して学ぶプロセスを
 ・人間関係の視点から、具体的に実践し学ぶ。そのうえで人的環境としての保育者の役割を理解する。
 という3つの視点については理解していた。

評価は安定しているが⑬に関しては1年生ということもありさらに工夫したい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

昨年度から⑬に関してはその都度見直しを持ち説明するように改善したが、多様な学生を鑑み今後も工夫していきたい。

授業科目名	環境指導法AB
-------	---------

履修者数	74
------	----

有効回答数	69
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.99	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.97
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.99	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.96
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.99	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.84
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.99	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.91
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.96	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.91
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.96	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.83
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.99	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.91
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.99	18	提出物の方法・期限を守った。	4.96
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.99	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.97
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.97	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.99

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

幼稚園教育要領等に示された領域「環境」のねらいや内容を理解する。また、事例やVTR視聴を通して子どもが周囲の環境と関わる姿に触れながら、子どもが体験するものについて考察し、子どもを取り巻く環境の重要性を理解する。また、ディスカッションや模擬保育を行いながら、子どもの好奇心や探求心を支える保育者の役割について学ぶ。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

評価項目4.6が一番低い結果となった。模擬保育を実施するにあたって、途中で授業計画を変更することもあり、混乱を感じた学生もいたのではないかと思う。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

今年度から新カリキュラムに移行する形で授業をした。新カリキュラムでは今までの演習授業に加え、模擬保育が求められている。模擬保育の時間を確保しつつ、演習授業の内容を精査したい。

授業科目名	言葉指導法AB
-------	---------

履修者数	71
------	----

有効回答数	69
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.90	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.78
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.84	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.91
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.86	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.48
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.84	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.91
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.84	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.87
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.86	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.59
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.91	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.57
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.88	18	提出物の方法・期限を守った。	4.90
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.88	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.87
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.87	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.90

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

科目の目的は、受講者の方たちのレポート等から、ほぼ達成されていたと考えます。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

No13のシラバスについては、毎年授業時の1回目に配付し、説明も行ってはいますが、例年最も低い項目です。改善の方策がこれ以上見つからない状況なのですが、何かアドバイス等あればいただきたいと思います。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

No16、No17に関して、質問があるか等、毎回声掛けをしていますが、さらにこまめに声をかけていきたいと思っております。

授業科目名	表現指導法AB
-------	---------

履修者数	71
------	----

有効回答数	70
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.93	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.76
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.89	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.94
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.87	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.61
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.91	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.93
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.87	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.84
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.89	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.74
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.74	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.99
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.80	18	提出物の方法・期限を守った。	4.96
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.84	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.94
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.90	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.91

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

総合評価4.91は満足できる数値で科目の目的はある程度達成されたと感ずる。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

私語や居眠りせず取り組んだという項目の評価が4.99と出て、限りなく全員が90分の授業に最初から最後まで集中して取り組んでいたことがうかがわれ大変うれしく思った。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

次年度もこのスタイルで、更に一人一人の対応をしっかりとしながら、個々の表現を引き伸ばす努力をしていきたい。

授業科目名	音楽表現AB(後期)
-------	------------

履修者数	71
------	----

有効回答数	67
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.97	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.85
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.96	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.96
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.99	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.72
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.97	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.93
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.97	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.94
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.97	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.91
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.96	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.94
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.96	18	提出物の方法・期限を守った。	4.97
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.94	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.97
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.94	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

さまざまな環境や状況に応じた「子どもとともに楽しむ音楽表現」のあり方を研究する。子どもの音楽的な成長と発達について学びながら、発達に応じた音楽教材の作成や、歌唱・器楽・創造的音楽活動などを学んで、それを自在に応用する手法を身につける。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

学生はどの課題に対しても意欲的に取り組んだと思う。学生の自由な発言は、授業に参加しようという積極性ととらえていて、あまり厳しく注意をしなかったが、集中しにくいと感じた学生もいたのかもしれない。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

自身が心から表現しようとした音楽は必ず幼児にも伝わると思うので、学生が音楽を楽しんで積極的に表現できるような授業にしていきたい。心を開いて自由に表現する雰囲気を作りながらも、それぞれの学生が授業に集中できるように配慮したいと思う。また、幼児の感性を豊かにできるような音楽活動について、どのような配慮が重要で大切なか、という観点から授業を進めることを心掛けた。

授業科目名	音楽表現AB(前期)
-------	------------

履修者数	71
------	----

有効回答数	67
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.79	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.82
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.94	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.88
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.91	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.66
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.93	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.94
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.94	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.93
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.93	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.82
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.90	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.88
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.88	18	提出物の方法・期限を守った。	4.99
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.82	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.94
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.91	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.97

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

・いろいろな楽曲の理解と的確な表現ができる ・明朗な発声で歌を歌える ・子どもの音楽的発達と表現を理解する

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

音楽表現の楽しさを伝えられる授業を今後も行いたい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

歌うことに抵抗を感じている学生に対しての指導法の幅を広げたい。

授業科目名	ピアノ表現 I (個人レッスン)
-------	------------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	8
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.63	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.63
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.75	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.75	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.13
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.88	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.88
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.75	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.88
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.88	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.88
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.88	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.88
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.88	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

保育者として保育現場で求められるピアノの演奏技術の体得をめざす。授業は個人レッスンで、個々の進度に合わせてグレード試験のピアノ演奏、弾き歌いの課題曲を中心とした教材で学習する。学生が技術的に演奏が困難な部分の原因と、弾けるようになるための練習方法、また曲の解釈を学ぶことにより、音楽的に豊かな表現ができるような演奏法を習得する。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

学生は自分自身の課題を見つけ、苦勞しながらも前向きに取り組んだと思う。
No.1の開始・終了時間については、ほぼ他のクラスと同じだったと思うので、あまり心当たりがない。課題曲を見るために少々レッスンが伸びたことはあったかもしれない。
No.11は、個人レッスンの形態であるため、他の学生の私語はないと思うので集中できる環境の配慮ということがよくわからない。私のクラスで特別なことがあるとすれば、試験前にクラス全員の前で自分の試験曲を演奏することだろう。実習や現場に出てピアノを弾くときはいつもそのような環境で弾かねばならず、緊張する練習だと説明して続けている。学生はプレッシャーを感じながらも、緊張状態で弾ききる必要性は理解しているように思える。もし不満があるとなれば、ぜひ自由記述に書いてほしいと思っている。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

学生が保育者として豊かな音楽活動ができるように、きめ細やかな指導をしたいと思う。学生が自分の能力向上を実感できるような授業にしていきたい。

授業科目名	ピアノ表現 I (グループレッスン)
-------	--------------------

履修者数	71
------	----

有効回答数	64
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.78	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.83
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.84	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.84
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.83	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.53
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.83	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.95
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.84	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.92
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.88	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.81
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.83	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.97
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.80	18	提出物の方法・期限を守った。	4.98
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.75	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.88
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.88	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.89

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

ピアノ演奏技法と子どもの歌の弾き歌いを習得する。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

今後もわかりやすい授業を行うよう努力する。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

コード奏法の理解を促すために学生の授業の振り返りの方法を再検討したい。

授業科目名	ピアノ表現 I (個人レッスン)
-------	------------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	7
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.71
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

- ・ピアノ初心者の場合、まずはピアノを嫌いにさせない事と、練習の習慣づけ
- ・楽譜から読み取る基本的な音楽の知識と、正しいピアノの奏法、技術の習得
- ・ハ長調の基本コードの習得と、人前での弾き歌いに慣れること

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

全くの初心者が数名いたが、一年間それぞれがよく努力したと感じている。
課題のクリアにはかなりの練習が必要と思われた者も頑張っ合格できており、中には「自分でもビックリするくらいピアノが弾けるようになって嬉しい」という学生もいた。
さらに2年次での意欲的な取り組みに期待したい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

今年度、グレード課題を根本的に改定したことにより、学生たちのやる気や練習量がアップしたと感じている。
短いレッスン時間内に、一人ひとりきちんとポイントをつかんだ効率の良い指導ができるよう、今後も意識していきたい。

授業科目名	ピアノ表現 I (個人レッスン)
-------	------------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	7
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.71
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.86
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

各々の力に合わせて演奏技術が向上するように楽譜の読み方や個人での練習の仕方も授業内で行っている。実習先や就職試験に備え、豊かな表現をもった演奏、表情にも意識して授業を進めている。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

短い時間の中で、言葉で伝える事と演奏してもらう時間配分の難しさを感じている。特に初心者の学生には個人練習がスムーズに出来るよう言葉がけも工夫し、学生の積極的に学ぶ気持ちを引き出していきたい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

1年生の授業で学んだことが2年生でより確かなものとなるよう指導していきたい。
また、演奏技術だけでなく、音楽の楽しさを身体全体で表現できるよう指導を進めていきたい。

授業科目名	ピアノ表現 I (個人レッスン)
-------	------------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	7
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.71
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.57	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

二年間で保育士として求められる歌、ピアノの専門的な技術をしっかりと身につけて欲しいと考えます。そのために読譜力(具体的に楽譜・音符の理解、リズム感)を学び、リズムが正確に表現でき、初歩～中級程度の弾き歌いができるよう指導することを目標としています。技術を身につけるためには、個人レッスンを受けるだけでなく、個人個人の練習に時間と多くのエネルギーをかける必要があるため、練習方法の工夫や指導を提案したいと思います。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

授業の目的、学生に明確に伝わった上でレッスンできたことはよかったですと思います。
ピアノレッスンの準備(学生の個人練習)が足りない、また、技術に大変苦労している学生への指導が、限られた時間の中で伝えきれず悔いが残った部分がありました。
そういった場合に対し、前もっての準備に工夫し、更に努力する必要があると感じました。そのために私自身あらゆる角度から日常勉強し、レッスン(学生一人一人)に向き合いたいと思います。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

常に授業目的を念頭に、個人レッスンへの目標を持ち、勉強したいと思います。
一回一回のレッスン時間を大切に、個々の個性や性格に合わせて指導方法に対応できるよう努めたいと考えます。同じレッスングループ内で学生同士が情報を交換し、また、教えあうなど、互いを高める前向きな姿が見られたことは大変良かったと思いました。

授業科目名	ピアノ表現 I (グループワーク)
-------	-------------------

履修者数	71
------	----

有効回答数	59
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.97	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.93
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.93	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.93
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.90	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.47
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.92	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.90
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.93	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.88
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.93	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.75
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.88	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.98
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.75	18	提出物の方法・期限を守った。	4.98
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.83	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.88
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.86	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.88

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

C.F.Gの主要三和音を理解させ、より実践的に弾きこなせる。

弾き歌いに親しみ、子どもの歌のレパートリーを拡大させ、一年間で弾き歌い9曲以上、課題曲3回以上合格を目的とするピアノ個人レッスンにおいて、読譜力・演奏力を養うためのグループワークである。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

シラバスを理解させ、学生からの要望も理解し、取り入れる努力が必要。

指導課程(授業展開、進度、目標など)を理解させ、科目目標を達せられるようにする。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

日々の練習の重要性と”音楽理論(グループワーク)”と”歌・ピアノ”との結び付きを理解させ、より実践的な能力を取得するように指導する。

授業科目名	ピアノ表現 I (個人レッスン)
-------	------------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	6
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.83
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.83	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.83
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.83	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.83	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.83	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.67	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.83	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.83	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

学生の理解に合わせて授業を進めていけなかった部分が見られた。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

担当教員として、学生に対する配慮のかけている部分が見られた。
これからは学生に確認を取りつつ、授業を進めて行くよう努力したい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

学生の性格などを考慮し、その学生に合った声掛けをするよう心掛ける。

授業科目名	ピアノ表現 I (個人レッスン)
-------	------------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	6
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.83	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.83
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.83	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.83	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

ピアノ表現1ではピアノに初めて触れる学生、経験のある学生がいる。初めて触れる学生には、まずピアノに慣れてもらう事、経験のある学生には、よりレベルの高い演奏や表現を身につけてもらうこと等を目的として授業展開を心掛けていた。初心者の学生に対しては鍵盤の場所、音符の読み、指づかい等を確認しながら一緒に練習する様に指導を行い、経験のある学生に対しては自主性を見ながら演奏を聴かせてもらい、現場での表現を想像させながら指導を行った。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

設問1、5は共に時間についての項目であり、4.83となった。決められた時間内で何名もの学生を見ていくため、学生の進捗等により多少時間が変動することもあったと思う。また、設問8に於いては、短時間である程度レベルを上げ、グレード取得を目指すため、学生の進み具合によっては多少引っ張り上げるような形で授業を進めて行くこともあった。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

学生とのコミュニケーションをよく取るよう心がけ、現在学生が抱えている問題点や困難と思う点を重点的に指導するよう改善する。効率よく授業展開できるよう、学生にも日々の練習をしてもらい、スムーズで的確なレッスンをしていけるよう心掛ける。

授業科目名	ピアノ表現 I (個人レッスン)
-------	------------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	7
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.86
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.86	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.43
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.71
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.57	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.86
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.86	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.71
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.86	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.86
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.57	18	提出物の方法・期限を守った。	4.86
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.71	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

受講者は音楽経験のほとんどない者、または全くない者が多い。
ピアノ技術を身につける必要性を理解し、卒業後の姿を想像しながらピアノを通して音楽の基礎を習得する。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

時間配分と学生の理解に合わせた進行に不満のあった者がいた。
一人当たりのレッスン時間が短い上に指導内容が多い場合、つい焦ってしまい早口になってしまうことがあったかもしれないと考える。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

以前はレッスンを終わられず、お昼休みまで少し延長してしまう事もしばしばあったが、それは改善されている。次のレッスンまでに練習ができるように情報を提供しているが、学生の反応に気を配りながら情報量を調整、整理するよう心がけたい。

授業科目名	ピアノ表現 I (個人レッスン)
-------	------------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	6
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.33
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

--

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

--

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

--

授業科目名	ピアノ表現 I (個人レッスン)
-------	------------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	6
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.83	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.83
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.67	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.83	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.50
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.83	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.83	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.83
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.83	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.67	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.67	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.67	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.83

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

「ピアノ演奏技法を習得する」「子どもの歌の弾き歌いができる」「コード奏法を習得する」を目標とし、学生一人一人のレベルに合わせた指導を心がけた。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

極端に悪いものはなかったが、学生によっては分かりやすい授業になっていなかったかもしれない。短い期間の中で、どの学生にも伝わるような授業を考えるべきだと思う。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

これまでのピアノ歴のほかにも学生それぞれの特性を理解し、楽譜への書き込みや模範演奏を示すなど、より丁寧な授業を心がける。

授業科目名	ピアノ表現 I (個人レッスン)
-------	------------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	6
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.83
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.83
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

保育の現場に必要な音楽スキルを身に着けるため、学生一人一人の音楽的習熟度・理解度に合わせ、基礎と応用(弾き歌い等)の課題をこなし、実践と理解を深める。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

有効回答数が少ない(分母も少ないため)。また、履修スタイルが個別指導で完全に担当学生の顔と名前が一致するため、あまり悪いことを書きたくないと思うのか、授業科目や教員については、平均が5点満点になりやすい。コミュニケーションが取れるのは良いが、悪い評価はしづらいのではないかと感じる。遅刻や欠席、シラバスへの意識は、もう少し高く持たせるよう促す必要を感じる。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

フリーアンサーは、やや教員への個人的なお手紙になっており、教員側としては有難いと思う一方、もう少し学生が積極的に意見を書けるようなアンケートの方向性があるといいのではないだろうか。

授業科目名	造形表現 I A I B
-------	--------------

履修者数	71
------	----

有効回答数	67
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.84	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.90
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.93	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.94
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.94	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.75
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.96	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.94
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.84	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.97
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.93	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.94
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.96	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.91
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.94	18	提出物の方法・期限を守った。	4.96
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.93	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.97
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.97	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.95

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

造形表現に関する基礎的な知識や技能を身につけるとともに、子どもの表現の理解を深める。また、造形あそびを展開するために必要な知識や技能を習得する。美しいとはどういうことか、子どもの絵の発達といった内容を実際の制作を通して学び、造形表現の楽しさや喜びを知ることを到達目標とする。そのために、様々な造形表現の技法を試行したり、色彩感覚を高めるための色彩構成を行う。また、保育の組み立てを深めるためにパネルシアターの制作・実演等を行う。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

全体の評価として、4.8~4.9という高い評価がでているが、学生がシラバスをよく読んでいるという項目が若干低く出ている。初回の授業で必ずシラバスの説明を行っているが、課題が変わるたびにそれぞれの目的を伝え、シラバスを意識するように努めたい。自由記述欄を見ると楽しかったという意見が多くあり、それはそれなりに授業を主体的に取り組んでいる様子がうかがえてよかったが、結果として少しは苦手意識の克服につながったのか検証してみたいと思う。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

総合的に満足しているという数値が4.95と高い点数であり、基本的な授業の進め方はこの方向でもいいのかと思っている。しかし、課題が変わるたびにそれぞれの目的あるいは到達目標等を伝え、シラバスを意識するように努めたい。また、主体的に取り組む姿勢を後押しして、良き伴走者として、造形表現を苦手と意識しない学生が一人でも多く増えるような授業の組み立てをこれからも考えていきたい。

授業科目名	身体表現 I AB
-------	-----------

履修者数	74
------	----

有効回答数	48
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.92	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.90
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.94	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.96
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.94	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.85
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.94	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.92
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.92	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.94
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.90	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.88
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.88	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.94
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.92	18	提出物の方法・期限を守った。	4.96
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.92	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.96
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.96	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.94

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

到達目標

- ・運動遊びの意義を理解している。
- ・幼児期の運動発達を理解している。
- ・保育に必要な運動技能を身につけている。
- ・グループワークにおいて、率先して自らの役割を見つけ、協力して課題を解決できる。
- ・運動遊びを豊かに展開するための基礎的な知識や技術を身につけている。
- ・保育者として運動することの楽しさを実感できている。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

自由記述に「暑さ対策が欲しい」といったコメントがあった。15回の授業内容に留意し、7月・8月の暑い時期には実施場所を大学アリーナの広いスペースを利用し環境に考慮して授業を行った。また、水分補給を適宜行いながら実施してきた。しかし、短大体育館を使用の場合、室温は35℃を超える場合もあるため、将来的には大型扇風機を導入することを考えている。

1から20の項目において、4.8以上の数値となっており、大きな問題点はないとみている。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

暑さ対策のための環境づくりを計画的に考えていきたい。

授業科目名	障害児保育AB
-------	---------

履修者数	74
------	----

有効回答数	71
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.94
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.93	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.97
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.96	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.76
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.97	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.91
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.93
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.97	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.89
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.97	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.90
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.93	18	提出物の方法・期限を守った。	4.93
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.96	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.96
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.94	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.96

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

授業科目の到達目標は、障害に対する理解を深めることと、その理解に基づいて障害児(者)とどのように関わればよいかについて自分なりの考えを持つこと

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

概ね良好な評価と思われるが、問い13、問い16で低めの評価が出ている。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

受講者に事前にシラバスを確認するよう促し、また授業中の質問や自学を促すよう努めたい。

授業科目名	乳児保育 I
-------	--------

履修者数	71
------	----

有効回答数	71
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.90	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.68
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.72	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.83
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.64	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.46
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.64	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.92
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.69	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.89
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.73	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.49
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.70	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.32
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.56	18	提出物の方法・期限を守った。	4.93
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.49	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.80
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.63	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.70

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

基本的な理論中心の授業なので、始めて乳児保育を学ぶ学生が興味、関心を持って、保育への意欲を持てるよう意識して進めた。人数が多く大変だが基本は伝えることができた。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

質問や試験などの結果から理解しきれていない点がある。試験問題の回答の見直しをして、解るようにした。No.9の話し方について後列の学生にも意識したい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

学生の表情を見ながら授業を進めるようにした。テキストを変えたので、活用方法を具体的に説明し、将来使い続けることができるようにと指導した。

授業科目名	乳児保育ⅡAⅡB
-------	----------

履修者数	71
------	----

有効回答数	66
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.91	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.85
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.94	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.92
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.94	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.68
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.94	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.86
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.86	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.88
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.89	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.82
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.91	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.68
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.89	18	提出物の方法・期限を守った。	4.89
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.86	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.86
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.89	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.83

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

テキストの活用方法を徹底して繰り返して、自分から調べて学べるように努めた。保育現場を例に具体的に理解できるように進めた。試験結果から指導案の作成等、発達理解や内容の整合性など、解らない学生がいた。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

半数の学生だと一人一人の授業姿勢が解って授業を進めやすいと感じた。解りやすい授業を心がけた。午後一番の授業は「毎回、眠らせてはいけない!」と念じつつ。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

授業内容ごとに復習して理解度を確認して進めていくことをやり続けたい。厳しい現場なので、せめて楽しく学べるように工夫していく。

授業科目名	乳児保育ⅡAⅡB
-------	----------

履修者数	22
------	----

有効回答数	19
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.95
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.95	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.95	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

少人数で顔も性格も分かって、親しんで授業を進めることができた。
保育を解って選択した学生が多かった。保育の援助の演習をじっくりと伝えることができた。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

選択したテキストが助けとなった。声よりも、イラスト(視覚)の方が学生に入っていくと感じ授業を進めた。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

名前を覚え、学生を理解しようと努め、今何を考え感じて、学んでいるのか話を聞くように努めた。

授業科目名	子どもの健康と安全AB
-------	-------------

履修者数	71
------	----

有効回答数	67
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.90	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.88
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.90	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.93
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.93	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.72
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.90	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.90
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.81	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.87
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.90	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.75
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.91	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.70
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.82	18	提出物の方法・期限を守った。	4.91
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.90	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.88
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.85	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.88

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

--

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

--

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

--

授業科目名	社会的養護ⅡAⅡB
-------	-----------

履修者数	71
------	----

有効回答数	62
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.34	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.55
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.70	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.54
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.74	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.52
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.73	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.83
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.60	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.82
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.67	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.68
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.67	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.64
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.56	18	提出物の方法・期限を守った。	4.84
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.54	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.77
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.52	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.64

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

前期で履修した「社会的養護Ⅰ」、「社会福祉」、「子ども家庭福祉」等の知識を踏まえながら、「施設保育士」としての業務内容や基本的な心構え、専門的なかわり等について、事例をもとにしながら概観していく。具体的には、子どもの権利擁護や社会的養護における子どもの理解、支援内容、施設養護・家庭養護の特性と実際、社会的養護の今後の課題と展望等について理解させることを目的とする。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

授業中の私語が多くて、まじめに授業を聴きたい学生には迷惑だったのではないと思う。事例に基づいたグループワークによる話し合いを通して、もう少し他の学生の意見も参考にできる環境を作って、多様な考え方があることに気付ける機会を増やすようにしたい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

社会的養護の問題に関する最新のニュースを取り上げたり、DVDを見せたりすることで、学生のより身近な問題として社会的養護を感じられるように工夫が

授業科目名	保育課程論
-------	-------

履修者数	74
------	----

有効回答数	70
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.97	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.94
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.99	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.99	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.77
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.99	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.91
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.94	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.91
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.96	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.74
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.97	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.86
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.91	18	提出物の方法・期限を守った。	4.93
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.97	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.96
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.97	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.93

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

講義とグループワークを取り入れて授業を進めたが、積極的に意見を述べたり、考えをこぼにする学生が多かったと感じる。保育課程の意味や役割を、学生自ら作成することで、法令・保育指針・教育要領と園運営がどのようにつながり、保育者としてどのように実現していくのかと言う保育の質についての理解につながったと考える。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

概ね、学生は学ぼうと努力していたことが読み取れる。理論的なことが、如何に保育現場に直結しているかをさらに具体的な事例等を通して、伝えて生きたい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

グループで「理想的な幼稚園・保育園」の保育課程を作成することを通して、作成課題を毎年改善してきている。今年度は、特色ある取組み・地域・幼小の連携・園内研修・保護者連携等を具体的に保育課程に盛り込むことを課題に挙げた。学生にとってかなり難しい課題であった。しかし、このことから学生同士の協議が深まったと捉えている。次年度も自ら考え生み出していく場面を大切に、授業を進めていく。

授業科目名	保育教職実践演習(2年)
-------	--------------

履修者数	7
------	---

有効回答数	6
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.67	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.83
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.83	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.83
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.83	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.83	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

授業科目の到達目標

- ・社会性や対人関係能力が身についている。
- ・聴く、メモを取る、要点をまとめるなどの力が身についている。
- ・論理的思考力が身についている。
- ・レポート・論文等で記述するための基礎的スキルが身についている。
- ・プレゼンテーションの技法が身についている。
- ・保育者としての使命感や責任感、教育的愛情が身についている。
- ・幼児理解や学級経営の基礎が身についている。
- ・保育内容や指導力が身についている。

本授業は卒業研究を通して、教職・保育職を円滑にスタートできるよう、保育者として最小限必要な資質・能力を身につけることをねらいとしている。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

自由記述は見られなかった。

1から20の項目において、4.8以上の数値となっており、大きな問題点、課題はないとみている。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

個々の学生にとって到達目標が達成されるよう、学生とのコミュニケーションに留意し、学生主体の授業となるよう展開していきたい。

授業科目名	保育教職実践演習(2年)
-------	--------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	10
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.90	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.90
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.90	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.90	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.90
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.90	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.78
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.90
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.90
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	4.90
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

本授業は教職・保育職を円滑にスタートできるよう、保育者として最小限必要な資質・能力を身につけることをねらいとしている。到達目標としては①社会性や対人関係能力を身につける ②聴く、メモを取る、要点をまとめる力を身につける ③論理的思考力を身につける ④レポート・論文等で記述するためのスキルを身につける ⑤プレゼンテーションの技法を身につける ⑥保育者としての使命感や責任感、教育的愛情を身につける ⑦幼児理解や学級経営を身につける ⑧幼児内容や指導力を身につける等があげられる。村木ゼミではこれらのすべてを高めるために通称「森のさんぽ」という野外演習授業を行っている。ゼミ生全員で、年間に4回(春・夏・秋・冬)の野外保育実践の企画運営を行い、近隣の幼児たちとそれぞれの季節を意識して、屋外で遊ぶことで、上記の能力の向上に努めている。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

20の設問のうち、14の項目を除いて、4.9～5.0という高い点数であった。授業担当者として、素直にうれしい点数ではあるが、出席状況に関して主体性を重んじてあまり厳しくしてこなかった。野外保育実践はいつも全員で協力し合って行わなければ、企画運営自体がうまく進行しないため、自ずと遅刻欠席を意識するようになったのではないかとと思われる。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

総合的に満足しているという数値が5.0であるので、基本的にはこの方向での授業の組み立てを考えている。しかし、これも一人一人の主体性を育てたい科目でもあるので、次年度のゼミ生が15人と今年度の1.5倍の人数になっているため、果たして今までのやり方で今回のような結果が得られるのか不安であるが、工夫をして授業を組み立てたいと思っている。

授業科目名	保育教職実践演習(2年)
-------	--------------

履修者数	9
------	---

有効回答数	7
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

各自の研究目標について調査研究しまとめることを目的とする

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

学生の総合的な満足度は高いが、結果として各自の調査研究は的まttが、途中の進展がスムーズではなかった

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

まず目標を各自定めたのはよかったが、その先の進展が遅かった。始めの時点から結果レポートの様式を提示することでまとめ方のイメージがあればよかったの

授業科目名	保育教職実践演習(2年)
-------	--------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	9
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

音楽表現に関する諸々の課題を研究する。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

特になし

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

音楽表現が苦手な学生に対する指導法には工夫の余地があると考えており、学生と共にその方法を探りたい。

授業科目名	保育教職実践演習(2年)
-------	--------------

履修者数	4
------	---

有効回答数	4
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.75	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.75	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

授業科目の到達目標は、社会人としての基本を身につけ、また保育者として幼児理解や保育における指導力を身につけると、保育において自ら探求するテーマを設定して発表することである。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

概ね良好の評価であると思われる。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

対象人数が少ないこともあり、個々の学生の設定したテーマにできるだけ有用なアドバイスを心がけたが、来年度以降も同様によりきめ細かく対応していきたいと考える。

授業科目名	保育教職実践演習(2年)
-------	--------------

履修者数	5
------	---

有効回答数	5
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.80	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.80	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.80	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.80	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.40
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.80

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

・自身が決めた課題 について調べまとめるプロセスにおいて社会との接点から現場での様々な関わり方・保育者の前段階としての姿勢を学ぶという点では、直接保育現場で体験することで学生がねらいを自覚し取り組んだ。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

保育現場への訪問があり園の都合で朝早くから現場に入るなど交通機関の影響で⑭に関する評価が低かった。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

・今年度は保育現場へ入り1年間継続し研究活動を実施したため、学生の満足や充実感はあるが、個人の受け止め方には差があると感じる。

授業科目名	保育教職実践演習(2年)
-------	--------------

履修者数	5
------	---

有効回答数	5
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.20	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.80	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.80	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.60
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.60	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.80
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.80	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.60
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.80	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.40
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.80	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.60	18	提出物の方法・期限を守った。	3.80
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.60

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

「環境を通した総合的な保育」について、学生は興味関心をもって取り組んでいた。教育実習・保育実習の体験を通して、保育の見方・考え方を学ぶことができたと思う。しかし、保育実践の経験が少ない学生にとっては、保育者の意図を捉えることはまだまだ難しく、環境に対する読み取りは浅くなってしまっている。ただし、こうしたテーマで保育を見ていこう、理解しておこうという基本的な保育姿勢は、現場に出たときに必ず生かされると考える。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

「環境を通した総合的な保育」をテーマにしたことは、理解しようと思えば思うほどその難しさを学生は実感したことと思う。また、実習園の教育方針・保育内容によってはばらつきがあり、幼稚園教育要領に示された保育・教育内容と実際の現場とのギャップも感じていたことは事実である。継続した保育現場の観察ができれば、様々な読み取りができたと思うが、その点が大きな課題である。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

学生の疑問・質問に対して、より具体的な事例を学生同士で協議したり、またDVDでの保育動画を見て協議するなどの方法をとることを考える。

授業科目名	保育教職実践演習(2年)
-------	--------------

履修者数	5
------	---

有効回答数	5
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.80	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.80
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.80	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

将来保育者となる者として、問題意識をもって研究に取り組み①仲間と協同しながら問題を解決していく力 ②論理的思考 ③プレゼンテーション技法 ④保育者としての使命感、責任感、教育的愛情 ⑤子ども理解や学級経営 ⑥保育内容や指導力を身に付ける。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

研究テーマが決まっても問題意識を持って内容をしばらくこんでいくまでかなりの時間がかかる。そのため、アンケート作成や保育現場での調査が押せ押せになり、結果、レポート執筆やポスター作成も期限ぎりぎりになってしまっている。

学生には自分の研究テーマだけでなくゼミ仲間の研究テーマにもっと関心を持って欲しいと感じる。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

これまでは教員対学生で研究を進めていくという流れが強かったように感じる。今後は学生一人一人が自分の研究テーマについて感じていることや疑問を言葉化してゼミの仲間に投げかけたり、ゼミの仲間もこの疑問に対して応えたりという時間をより大切にして授業を進めていくことで、学生が自分の言葉で表現する力を身に付けながら、主体的に研究に取り組めるようにしたい。

授業科目名	保育教職実践演習(2年)
-------	--------------

履修者数	8
------	---

有効回答数	8
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	3.50	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	3.25
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	3.25	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	3.25
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	3.38	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.57
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	3.38	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.63
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	3.25	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.88
6	教材・テキスト等は適切であった。	3.25	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.75
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	3.25	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.75
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	3.25	18	提出物の方法・期限を守った。	4.88
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	3.25	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.38
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	3.25	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	3.25

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

テレビや新聞で取り上げられるニュースや、1年次に学習した障害や福祉に関する知識を踏まえながら、学生の興味・関心のある研究テーマを見つけ、卒業研究発表に向けてそのテーマをグループや個人で深めていくことを目的とする。最終的には、深めた内容をレポートにまとめたりプレゼンできるようにすることを狙っている。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

研究テーマを深く掘り下げるために、基本的な知識に関連する文献を読むことを学生に課していたが、今まであまり本を読んでこなかったために文献を読むことが苦手で、なかなか基本的な知識の習得までには至らなかった。また、実習の準備で忙しいことを読めない理由にすることが多く、なかなか研究テーマの内容を本格的に指導出来ない状況が続いてしまった。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

基本的な文献の読み合わせすることで、学生の研究に必要な知識の習得を図りたい。さらに、月に1回程度、学生ごとの進捗状況の発表と発表を聞いての学生相互間のアドバイスをすることで、より研究への関心を高めたり、深められるような環境を設定できるようにしたい。

授業科目名	保育教職実践演習(2年)
-------	--------------

履修者数	6
------	---

有効回答数	4
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.75
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.50
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.75
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.75
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

虐待などの内容、対応などを各自が調査研究しまとめることが目標であったが、アンケート結果からは、おおむね達成できたと考えている。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

「あなた自身」以外の項目はすべて「5」であったので、良かったと考えている。ただ、学生がわからなかったことを自発的に調べようとする環境づくりに努めたい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

学生がわからなかったことを自発的に調べたくなるように、その研究テーマの興味関心に基づいた情報提供や関わりを行う。

授業科目名	子ども・子育て支援論
-------	------------

履修者数	71
------	----

有効回答数	68
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.81	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.82
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.82	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.82
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.84	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.68
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.84	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.93
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.71	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.85
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.82	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.75
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.79	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.82
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.71	18	提出物の方法・期限を守った。	4.93
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.74	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.82
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.81	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.84

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

現代社会の子育てや子どもの保育・教育を巡る問題を知る。子育て支援や保育・教育の現状とあり方を考える。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

学生から提出された授業の振り返りや試験結果から、科目の目的はほぼ達成されたと考えている。しかしながら、全体的に授業の評価は低かったと考えている。なかでも評価の低かった項目8について、この科目が多数の学生を対象とした講義科目であったため、一人一人の学生の理解度を把握できていなかったと考えている。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

授業に対する学生の自由記述には「席指定にするなど、勉強したい人が集中して授業を聞ける環境が整えられていたのが良かったです」とあった。学生が授業に集中できる授業内容の検討はもちろんのことだが、学生が集中して授業に取り組める学習環境について今後も考えていきたい。

授業科目名	子ども・子育て支援論
-------	------------

履修者数	71
------	----

有効回答数	68
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.16	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.32
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.66	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.53
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.76	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.49
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.76	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.87
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.50	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.79
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.69	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.49
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.64	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.51
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.31	18	提出物の方法・期限を守った。	4.84
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.38	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.65
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.41	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.61

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

現在の「子ども・子育て支援新制度」に至るまでの政策の変遷をたどることで、少子化対策から子育て支援策へと政策が変わったことを理解させる。さらに、従来の子育て支援策の内容と課題を理解させることで、子ども・子育て関連3法から子ども・子育て支援新制度、ニッポン一億総活躍プラン、子育て安心プラン、新しい経済政策パッケージ、地域子ども・子育て支援事業について把握できるようにした。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

毎回配布プリントが多いため授業の開始が遅れてしまうことがあったが、授業より少し早目に行って、配布プリントを配るようにしたいと思う。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

学生に理解してもらいたい内容が多く、毎回、かなり内容を詰め込みすぎたという反省がある。そのため、必要な内容を取捨選択をしながらポイントを理解できるようにしているが、もう少し工夫が必要だと思っている。

授業科目名	子ども・子育て支援論
-------	------------

履修者数	71
------	----

有効回答数	68
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.84	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.90
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.90	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.88
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.90	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.69
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.87	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.94
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.84	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.87
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.85	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.70
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.82	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.71
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.82	18	提出物の方法・期限を守った。	4.87
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.87	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.85
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.84	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.87

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

--

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

--

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

--

授業科目名	子ども・子育て支援論
-------	------------

履修者数	71
------	----

有効回答数	68
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.91	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.78
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.87	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.88
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.87	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.66
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.85	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.96
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.85	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.91
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.85	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.74
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.84	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.78
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.79	18	提出物の方法・期限を守った。	4.93
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.81	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.88
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.81	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.85

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

--

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

--

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

--

授業科目名	保育相談の実際
-------	---------

履修者数	27
------	----

有効回答数	22
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

保育の実際の現場に即した役立つテーマや方法を取り上げグループ討議を中心に進める

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

学生の総合的な満足度は高いが、さらに理解度をどう上げるかが課題である

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

やり方としては更に記録させ確認させ比較させまとめさせることが必要である

授業科目名	保育臨床心理学AB
-------	-----------

履修者数	74
------	----

有効回答数	71
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.99	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.97
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.99
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.83
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.90
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.99	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.96
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.99	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.83
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.92
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	4.97
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.99
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.97

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

保育臨床にかかわる心理アセスメント、心理療法、臨床心理学的観点からの知識及び援助の基礎等を理解することが目的であったが、アンケート結果からはおおむね達成できたと考えている。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

設問文のすべてにおいて、おおむね良い結果だったと捉えている。強いて挙げれば、私語への対応を留意したい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

授業中の私語について、その私語のあり方等も捉えながら、学生が学びに向かえるよう、適宜対応していくこととする。

授業科目名	子どもの保健実習AB
-------	------------

履修者数	58
------	----

有効回答数	56
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.98	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.98
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.98	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.98	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.84
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.96
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.91
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.84
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.93
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	4.91
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.96
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.98	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

--

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

--

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

--

授業科目名	保育内容総論ⅡAⅡB
-------	------------

履修者数	74
------	----

有効回答数	65
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.98	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.98
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.97	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.85
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.98	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.97
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.95	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.92
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.98	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.86
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.98	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.98
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.92	18	提出物の方法・期限を守った。	4.95
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.94	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.98
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.95	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.98

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

- ・幼稚園教育要領・保育所保育指針を理解し園生活を通し総合的に子どもをとらえる視点を身に着ける。
- ・乳幼児の実態に則した保育内容の計画・留意点を掴む。
- ・保育者の役割や環境構成の課題をPDCAサイクルで考える。
- ・具体的な保育事例から五領域のねらい及び内容とのつながりを理解し「遊び」を通し協働を学ぶ。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

評価は全体的に安定しているが⑬に関する課題がある。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

昨年度から⑬に関してはその都度見直しを持ち説明するように改善したが、多様な学生を鑑み具体的に視覚化し今後も工夫していきたい。

授業科目名	表現活動指導法
-------	---------

履修者数	74
------	----

有効回答数	48
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.94	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.90
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.94	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.92
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.92	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.90
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.88	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.88
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.85	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.90
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.94	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.94
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.85	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.92
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.88	18	提出物の方法・期限を守った。	4.92
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.90	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.94
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.88	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.89

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

子どもの鑑賞教材の視点から素材を選定し、作品を制作・発表することにより、表現について考察する。
また、ミュージカル作品を制作・発表する中で、さまざまな表現技法の習熟を図り、保育者としての実践的指導力を高めることを目的とする。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

ミュージカル制作にあたり、学生はそれぞれの役割で様々な問題に直面し、悩みながらも前向きに取り組んで発表につながったと思う。集団で創作する実技形態の授業の中で、自主性、責任感、協調性、コミュニケーション能力、問題解決能力を高められたのではないかなと思う。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

以前から比べれば、予定された時間枠の中でミュージカルを完成させることができるようになったと思う。
学生それぞれのミュージカルに取り組む考え方は同じではない。悩んでいる学生の援助ができるような指導を心掛けたい。

授業科目名	表現活動指導法
-------	---------

履修者数	74
------	----

有効回答数	48
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.94	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.90
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.94	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.92
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.92	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.90
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.88	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.88
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.85	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.90
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.94	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.94
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.85	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.92
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.88	18	提出物の方法・期限を守った。	4.92
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.90	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.94
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.88	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.89

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

ミュージカル制作を通して、自主性、責任感、協調性、コミュニケーション能力、問題解決能力等を身につける。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

複数教員で担当する科目であり、それぞれの教員が役割を果たしており授業科目の到達目標は達成していると考えている。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

PCの有効活用をさらにすすめる。

授業科目名	表現活動指導法
-------	---------

履修者数	74
------	----

有効回答数	48
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.94	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.90
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.94	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.92
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.92	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.90
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.88	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.88
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.85	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.90
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.94	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.94
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.85	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.92
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.88	18	提出物の方法・期限を守った。	4.92
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.90	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.94
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.88	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.89

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

到達目標

- ・グループ単位で子どものための鑑賞教材を選定し制作することにより、自らの表現について評価できる。
- ・ミュージカルの役柄に応じた表現力を身につける。
- ・保育者の必要な表現力とその指導法を身につける。
- ・ミュージカル練習や舞台づくり・発表にかかわる様々な係活動を通じて自主性、責任感、協調性、コミュニケーション能力、問題解決能力身につける。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

自由記述に問題点は見られなかった。

1から20の項目において、4.8以上の数値となっており、大きな問題点はないとみている。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

個々の学生にとって到達目標が達成されるよう、授業担当者間の意思疎通、学生とのコミュニケーションに留意し、学生主体の授業となるよう展開していきたい。

授業科目名	表現活動指導法
-------	---------

履修者数	74
------	----

有効回答数	48
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.94	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.90
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.94	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.92
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.92	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.90
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.88	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.88
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.85	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.90
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.94	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.94
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.85	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.92
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.88	18	提出物の方法・期限を守った。	4.92
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.90	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.94
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.88	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.89

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

本授業は2つの演習課題で構成され、課題Ⅰでは子どもの鑑賞教材の視点から素材(合唱・合奏・オペレッタ・紙芝居・手品等)を選定し、作品を制作・発表することにより、表現について考察する。課題Ⅱは地域の子どもたちと一緒に一つのミュージカル作品を作る。脚本作りからロールプレイングを通じた役作り、また舞台全体を制作し、発表する中で、様々な表現技法の習熟を図り、保育者としての実践的指導力を高めることを目的に行う学生主体のアクティブラーニング型の授業である。授業の到達目標は①グループ単位で子どものための鑑賞教材を選定し制作することで自らの表現について評価できる。②ミュージカルの役柄に応じた表現力を身につける。③保育者に必要な表現力とその指導法を身につける。④ミュージカル練習や舞台作り・発表にかかわる様々な係活動を通じて自主性、責任感、協調性、コミュニケーション能力、問題解決能力等を身につける。

2 アンケート調査票の結果と問題点の考察

全体の評価として、4.8～4.9点台とおおむね結果は良好であるが、設問の5.この授業内容の組み立てや時間配分が適切であった。と設問7.学生からの提出書類や質問等に適切対応していた。の2つの項目に関しては、4.85という若干低い数値であった。その背景を考察すると、規模の大きな授業であるため時として行き届かない場面があったのではないかと推測する。常に試行しながら作り上げていく過程の中で、5人の授業担当者の中でも微妙に意見の違いがあり、学生が時に混乱することがあったかもしれないが、実はそれも本授業では重要な要素と考えている。作り上げていく過程で常に正しい判断力を学生自身が求められるということであり、その結果、要求される事に対して、選択する能力を学生自身が問われることにもなる。常に正解だけを聞いて動くのではなく、その都度どれがより適切なのかという表現力を身につけていく過程の中での授業評価であることを自覚し、主体である学生たちと誤解のないような意見のやり取りを行いながら授業を構成していきたい。また、今回は有効回答数が低かったが、次回は回収率をもう少し上げなければいけないと感じている。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

前回のアンケート結果を見ると、全体に4.7～4.8点台で各設問の評価が推移していた。数値上は昨年よりも0.1ポイント上回る事ができたことはよかったと感じている。その背景として学生たちの主体性を重んじてきていることや、各教員が学生の意見を聞き、授業の中で少しずつ反映させていることなどが考えられる。作ることに重きを置く傾向に対して、その過程の中で学生たちと話し合い、納得して学生自らが話し合い、協力して作っていくという雰囲気が今年の学年には強くあったように思われる。これからも制作過程の中での発見や納得を学生自らが感じて、主体的に動いていける環境構成を教員側が意識して作っていかねばいけないと思っている。

授業科目名	表現活動指導法
-------	---------

履修者数	74
------	----

有効回答数	48
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.94	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.90
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.94	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.92
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.92	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.90
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.88	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.88
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.85	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.90
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.94	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.94
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.85	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.92
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.88	18	提出物の方法・期限を守った。	4.92
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.90	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.94
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.88	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.89

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

総合評価4.89はまずまずの評価で、科目の目的はある程度達成されたと感ずる

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

授業内容の組み立て方や時間配分が適切であったという項目が4.85であり、もう少し改善の余地はあるように感ずる。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

次年度も大体このスタイルでいけばよいと思う。一人一人が満足できるよう、さらに気を配っていきたい。

授業科目名	ピアノ表現Ⅱ(個人レッスン)
-------	----------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	5
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

保育者として保育現場で求められるピアノの演奏技術の体得をめざす。授業は個人レッスンで、個々の進度に合わせてグレード試験のピアノ演奏、弾き歌いの課題曲を中心とした教材で学習する。ピアノ表現Ⅰで学んだ知識と技術をさらに高めることを目的とする。自分の演奏技術に捕われるのではなく、子どもたちの存在を意識した演奏法を習得する。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

全て5.00という数字をどのように捉えるかは疑問の残るところであるが、単位認定の課題をクリアしてもそこで留まることなく、更に上級の課題に挑戦しようと、最後まで学習を続けた学生が多いたことは評価できると思う。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

学生が保育者として豊かな音楽活動ができるように、きめ細やかな指導をしたいと思う。学生が自分の能力向上を実感でき、更なる学びの意欲が持てるような授業にしていきたい。

授業科目名	ピアノ表現Ⅱ(グループレッスン)
-------	------------------

履修者数	73
------	----

有効回答数	54
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.91	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.96
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.93
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.96
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.98	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.98
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.96
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.98
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.98	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

ピアノ演奏技法を習得するとともに、子どもの歌の弾き歌いができる

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

授業の到達目標はほぼ達成できたと考えている。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

1年次に学んだことの発展的内容が主な授業内容であり、効率よく1年次の振り返りができる授業内容を再検討したい。

授業科目名	ピアノ表現Ⅱ(個人レッスン)
-------	----------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	6
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

- ・ピアノ表現Ⅰでの学びをより発展、レベルアップさせる。
- ・ハ長調、ト長調、ニ長調など、ハ長調以外の基本コードの習得
- ・簡易伴奏を使った、より実践的なピアノ指導

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

ピアノの基本的な奏法、技術などは、より難易度の高い曲へとレベルアップして習得していく。
この学年はグレード課題の改定が2年次からとなったので、かなり戸惑いがあったと思われる。過渡期のため、予定通りにいかない者もいたと思うが、それぞれが自分なりに努力して、なんとか課題をクリアしていた。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

上記のように、1年次からの計画が狂い、最後に慌てて、とにかく楽譜通りに弾くことで精一杯という状況も見られた。
目標とするレベルに達するには、1年次から卒業までを見越した計画性が、指導者、学生ともに必要ではないかと感じた。

授業科目名	ピアノ表現Ⅱ(個人レッスン)
-------	----------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	3
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

各々の力に合わせて演奏技術が向上するように楽譜の読み方や個人での練習の仕方も授業内で行っている。実習先や就職試験に備え、豊かな表現をもった演奏、表情にも意識して授業を進めている。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

3名の回答ではあるが、気持ちが伝わっていて良かった。
今後も学生に寄り添いながら、さらに演奏技術が向上するように時間配分や言葉がけにも十分配慮しながら授業を進めたい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

学生自らが音楽を楽しみ表現することも大切だと考えている。園児の心と身体の成長に大きく関わる事を常に考え、学生の演奏技術の向上にあらゆる角度から言葉がけをしていきたい。

授業科目名	ピアノ表現Ⅱ(個人レッスン)
-------	----------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	5
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.80
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

二年生は、更に曲のレパートリーを増やし、実習先～現場で通用する技術を見つけられるよう指導しました。子供たちの表情を見ながら、楽しく歌やリズムを伝え、伴奏の形も変化できる(その場に応じて)ために、曲の表情を、どのように工夫したら良いか?など、積極的に学生と考えたいと思いました。余裕で弾き歌いが演奏できる技術が身につけられるよう、そのことを目標としてレッスンを行いました。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

授業目的が学生たちと共有でき、具体的に意見交換しながら、やりがいのあるレッスンへとつながり良かったと思います。学校行事や実習、忙しい時期は、学生の遅刻、忘れ物が目立ち、生活習慣の乱れがあり残念でした。担当学生を同じレベルに達成することは難しかったですが、全体には素直で前向きな姿勢で努力したことは大変良かったと思いました。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

個人レッスンの授業ではある中、学生の意識を保つために、同じグループ同士で問題点やわからないことを相談し、助け合う雰囲気を作り、私自身も皆へ声掛けをし、配慮に努めました。(課題を共有しあえるように)結果、それぞれの力の中で前向きに努力する姿が見られ、個々の力への大きな助けになったと感じました。是非、今後に生かしていきたいです。

授業科目名	ピアノ表現Ⅱ(グループワーク)
-------	-----------------

履修者数	73
------	----

有効回答数	60
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.98	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.95
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.98	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.98
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.93	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.80
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.98	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.93
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.97	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.97
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.98	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.85
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.98	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.95
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.95	18	提出物の方法・期限を守った。	4.97
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.97	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.97
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.97	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.97

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

各調の主要三和音を理解させ、簡易伴奏をより実践的に弾きこなせる。

“弾き歌いに”親しみ、子どもの歌のレパートリーを拡大させることを目標に、読譜力・演奏力を養うためのグループワークである。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

指導課程(授業展開、進度など)を理解させ、科目目標を達せられるようにする。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

「即戦力となる人材育成」を目標とし、日々の練習の重要性と”音楽理論(グループワーク)”と”歌・ピアノ”とを十分に結びつけ、より実践的な能力を取得するよう指導する。

授業科目名	ピアノ表現Ⅱ(個人レッスン)
-------	----------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	6
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

卒業後の勤務先において支障をきたす事態が起こらずにすむよう個人の実力に合った最善の方法を見つけられるように指導した。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

おおむね良好だったと思える。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

学生の性格などを考慮し、その学生に合った声掛けをするよう心掛けた。

授業科目名	ピアノ表現Ⅱ(個人レッスン)
-------	----------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	5
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

ピアノ表現Ⅱでは、履修する学生全員がすでに1年以上はピアノを経験しており、保育の現場に立つことを見据えた授業となる。幅広い表現力と対応力を身に付けてもらうこと、より高度な演奏技術を身につけてもらうことを目的とした。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

全て5.0という評価だったが、有効回答数が履修者の半分だったため、結果と問題点を見出すのは難しいと判断する。しかし、授業を振り返り、学生が達成感や上達したと感じる事があったならば良かったと思う。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

今後授業を展開していくにあたり、個々の力に合わせた指導は変わらず心掛け、学生がより高い目標を持ち、努力をしていけるよう授業を行いたいと思う。

授業科目名	ピアノ表現Ⅱ(個人レッスン)
-------	----------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	4
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.50	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.75
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.50
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.75
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

ピアノを通して、保育・幼児教育現場で通用する音楽表現を考える。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

ほぼ良好だった。
しかし、No.16より、わからないことの解決に努めずいた学生がいたことは問題である。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

No.16 → 質問しやすい雰囲気作りに努めたい。

授業科目名	ピアノ表現Ⅱ(個人レッスン)
-------	----------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	7
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

--

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

--

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

--

授業科目名	ピアノ表現Ⅱ(個人レッスン)
-------	----------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	5
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.80	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.80
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.80	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.80
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.80	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.60
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.80	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.80
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.80	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.80
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.80	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.80
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.80	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.80
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.80	18	提出物の方法・期限を守った。	4.80
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.80	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.80
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.80	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.80

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

「ピアノ演奏技法を習得する」「子どもの歌の弾き歌いができる」「コード奏法を習得する」を目標とし、ピアノ表現Ⅰよりレベルアップすることを心がけた。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

8割は満足するという結果だったが、2年生になると実習など忙しくなり、ピアノを弾く時間が減ってしまうように思う。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

時間のない中で、効率よく練習する方法やコツを伝えていければと思う。

授業科目名	ピアノ表現Ⅱ(個人レッスン)
-------	----------------

履修者数	10
------	----

有効回答数	6
-------	---

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.67
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.83
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.83
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

保育の現場に必要な音楽スキルを身に着けるため、1年次で学習したことを生かして、さらに一人一人の音楽的習熟度・理解度に合わせ、基礎と応用(弾き歌い等)の課題をこなし、実践と理解を深める。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

有効回答数が少ない(分母も少ないため)。また、履修スタイルが個別指導で完全に担当学生の顔と名前が一致するため、あまり悪いことを書きたくないと思うのか、授業科目や教員については、平均が5点満点になりやすい。コミュニケーションが取れるのは良いが、悪い評価はしづらいのではないかと感じる。遅刻や欠席、シラバスへの意識は、もう少し高く持たせるよう促す必要を感じる。また、二年生の方が一年生よりも遅刻欠席の平均が落ちるため、学年が上がっても意識が落ちないようにする必要もあると思われる。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

フリーアンサーは、やや教員への個人的なお手紙になっており、教員側としては有難いと思う一方、もう少し学生が積極的に意見を書けるようなアンケートの方向性があるといいのではないだろうか。

授業科目名	造形表現Ⅱ
-------	-------

履修者数	29
------	----

有効回答数	28
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.93	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.96
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.96	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.96	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.96
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.96	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.96
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.96
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.96
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.96
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	4.96
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.96	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.96
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.96

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

造形表現Ⅰを継承し、さらに子どもたちの豊かな思いを具現化や形にする脂質・能力を高める。そのために造形遊びとして展開するの素材や教材の開発を行い、生活の周りにおける様々な素材感や教材感を豊かにする。この授業では、特に紙素材や自然素材、その他身近にある様々な素材に挑戦し、自分の造形表現領域を広げることが目的とし、保育者としての造形活動を豊かなものとする。今期は紙や自然素材を使った造形活動を通じて様々な技法の理解を深め、同時に子どもの表現の理解を深める。また、これらの素材を使った造形遊びを通して、保育の組み立てを深める。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

20の設問に対して全て4.9～5.0と非常に高い値であった。素直にうれしいことであるが、昨年と比較して授業を見直したことが評価されたのではないだろうか。もう一つの理由として、昨年に比べて受講者数が減り、一人ひとりと対話しながら授業を進められたことがあげられると思う。問題点を挙げるとしたら、ひとり一人の主体性を基にした演習形式の授業を進める場合の受講者数の増加である。どれくらいが適切かはわからないが、増加した場合の工夫も今後考えなければいけないと思う。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

昨年と比較して、授業の組み立てを変え、2つの課題に絞ってグループ活動としたことが結果として主体的な授業の組み立てにつながったと思われる。そこで次年度も課題を2つに絞り、一人ひとりと対話を重視しながら伴走者として授業を組み立てていきたいと思う。

授業科目名	身体表現Ⅱ
-------	-------

履修者数	36
------	----

有効回答数	35
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.97	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.97	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.97
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.97	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.80
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.97	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.83
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.91
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.86
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	4.91
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.97

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

授業科目の到達目標

- ・幼児期の運動発達を理解している。
- ・様々な動作の体験に留意し、廃材や手づくり遊具を使って運動遊びを創作できる力をみにつけている。
- ・グループワークにおいて、率先して自らの役割を見つけ、協力して課題を解決できている。
- ・運動遊びを豊かに展開するための知識や技術を身につけている。
- ・保育者として運動することの楽しさを実感できている。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

自由記述は少ないが、肯定的なコメントのみであった。

1から20の項目において、4.8以上の数値となっており、大きな問題点、課題はないとみている。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

個々の学生にとって到達目標が達成されるよう、学生とのコミュニケーションに留意し、学生主体の授業となるよう展開していきたい。

授業科目名	レクリエーション実習 I
-------	--------------

履修者数	67
------	----

有効回答数	53
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.92	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.94
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.94	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.96
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.96	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.72
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.94	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.96
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.91	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.98
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.92	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.94
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.94	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.96
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.94	18	提出物の方法・期限を守った。	4.94
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.94	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.91
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.94	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.94

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

授業科目の到達目標

- ・集団をリードし、一体感を生み出し、楽しい時間を演出するための基礎的スキルが身についている。
- ・1対1、1対集団、小集団対小集団といった場面で、コミュニケーションを促進するための基礎的スキルが身についている。
- ・対象や支援の目的に合わせたプログラムを展開するための基礎的スキルが身についている。
- ・既存のアクティビティへとアレンジするための基礎的スキルが身についている。
- ・対象者の主体性や協調性を引き出すための基礎的スキルが身についている。
- ・福祉施設や保育所・幼稚園など現場に応じたレクリエーション活動を企画・運営する基礎的知識・スキルが身についている。

本授業は遊びの援助(レクリエーション支援)を行う上で必要となるコミュニケーション技法や集団を対象としたレクリエーション活動の展開法を身につける ことにより保育者としての援助力を高めることを目的としている。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

自由記述は少ないが、肯定的なコメントのみであった。

1から20の項目のうち、「13履修登録の際に、この科目のシラバスを読んだ」の評価4.72を除いた項目は、4.91以上の数値となっており、大きな問題点、課題はないとみている。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

学生にはシラバスを詳細に読み、科目の目的、内容等を理解したうえで授業に臨むよう指導していきたい。また、個々の学生にとって到達目標が達成されるよう、学生とのコミュニケーションに留意し授業を展開していきたい。

授業科目名	レクリエーション実習 I
-------	--------------

履修者数	67
------	----

有効回答数	53
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.92	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.94
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.94	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.96
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.96	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.72
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.94	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.96
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.91	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.98
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.92	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.94
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.94	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.96
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.94	18	提出物の方法・期限を守った。	4.94
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.94	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.91
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.94	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.94

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

シラバスに基づき、授業内容や課題に沿って授業を進行できたので、No3にあるような「4.96」という評価につながったと思う。科目の目的は十分に達成されたと感じる。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

全体的に見て、まずまずの評価であり、特にNo20、統合的に満足していると回答している学生が「4.94」という結果に満足している。欲を言えば「5.0」まで持っていければいいと感じている。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

以前はシラバスに目を通さない学生が多く見られたが、今回は登録前にシラバスに目を通したという学生が「4.72」という結果で少し改善したように感じる。次年度も更に徹底したい。

授業科目名	保育実習指導 I (施設)
-------	---------------

履修者数	74
------	----

有効回答数	61
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.67	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.52
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.66	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.62
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.64	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.64
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.69	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.74
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.56	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.69
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.48	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.70
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.53	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.49
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.39	18	提出物の方法・期限を守った。	4.74
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.52	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.69
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.49	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.57

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

保育実習の施設実習指導については施設、利用者、制度などについて理解することが目標であるが、アンケートの設問文及び総合的満足度の結果からは、おおむね達成できたと考えている。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

他質問項目の比較においては、「学生の理解力に合わせてわかりやすく進めてくれた」という質問項目がやや低かったため、この点が改善点である。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

わかりやすく構造化して授業を進めるということと、疑問点、質問点について個別対応を含め応じていくことに努めたい。

授業科目名	保育実習指導 I 保育所AB
-------	----------------

履修者数	72
------	----

有効回答数	67
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.88	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.94
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.91	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.94
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.91	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.58
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.88	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.93
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.79	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.91
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.90	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.81
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.94	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.85
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.90	18	提出物の方法・期限を守った。	4.90
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.91	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.93
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.90	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.91

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

事前指導では保育所保育に実習生として参加し子どもと関わることの意味について考えながら実習の心得について学ぶ。また子どもが示す様々な姿をどう捉え保育者(実習生)として子どもとどう関わればよいのか、子どもを見る視点と保育者の援助について理解を深めつつそれを記録に生かす力を養う。模擬保育では保育者役や子ども役になる体験を通して子どもを主体とした遊びの展開について理解する。事後学習では実習の自己評価を行いながら自己課題を明確にする。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

低かった項目4の評価について、筆記試験がない科目であること。複数の教員が授業を担当していることから学生が評価方法に疑問を持ったと考えられる。保育実習 I の評価との違いを含め、次年度は学生に評価方法を明確に伝えたい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

この科目は現職保育士と共に担当している授業であることから、保育園でのリアルな子どもの姿・保育者の姿を学生に伝えていきたい。実習に出るにはたくさんの方の注意事項があるが、それを乗り越えて実習への期待や希望を学生が持てるような授業を心掛けたい。

授業科目名	保育実習指導 I (施設)
-------	---------------

履修者数	74
------	----

有効回答数	61
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.67	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.52
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.66	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.62
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.64	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.64
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.69	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.74
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.56	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.69
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.48	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.70
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.53	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.49
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.39	18	提出物の方法・期限を守った。	4.74
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.52	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.69
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.49	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.57

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

保育実習の施設実習指導については施設、利用者、制度などについて理解することが目標である。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

約12パーセントの学生の理解が不十分である。内容が多いので各自個別の課題内容の時間が必要かもしれない。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

施設見学を増やし実施したが、見学を1ねんせいで実施し2年生は施設の内容学習、確認の時間を増やす方向で検討する。

授業科目名	保育実習指導 I (施設)
-------	---------------

履修者数	74
------	----

有効回答数	61
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.67	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.52
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.66	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.62
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.64	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.64
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.69	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.74
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.56	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.69
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.48	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.70
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.53	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.49
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.39	18	提出物の方法・期限を守った。	4.74
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.52	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.69
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.49	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.57

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

初めての施設実習なので、1年次の実習の評価表と自己評価をふまえながら、1年次で学習した社会福祉、社会的養護 I、子ども家庭福祉党の福祉関連科目や周辺科目で学んだ知識を実習を通して、体験的に理解し深めることを目的とする。さらに、施設理解、利用者理解、障害の理解等を図ることを目的とする。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

学生の施設実習へ向けての向き合い方が不十分な点が見受けられた。学生が自分の実習先の施設理解や利用者理解、障害の理解を蔑ろにしたまま実習に出てしまったと思われる点が多かった。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

施設や利用者、障害に対する理解を深めたり、障害児・者に対する偏見や先入観を排除できるように、DVDを視聴したり、学生を引き連れて施設へ見学に行ったりすることで、施設にかかわる様々な点に興味を持てるようにしたい。

授業科目名	保育実習指導 I 保育所AB
-------	----------------

履修者数	72
------	----

有効回答数	67
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.88	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.94
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.91	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.94
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.91	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.58
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.88	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.93
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.79	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.91
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.90	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.81
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.94	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.85
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.90	18	提出物の方法・期限を守った。	4.90
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.91	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.93
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.90	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.91

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

1年生が実習を具体的にイメージしながら授業に臨むことは、経験の少なさと関係して難しい部分がある。その点を動画や写真、具体的な子どものエピソードを活用して可能な限り保育現場を思い浮かべられるように配慮した。個々の学生に不安はあったかもしれないが、学んだことを自身の中に留めて実習に参加できたのではないかと考える。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

授業については、上記配慮に基づいて実施したことで、多くの学生が意欲を持って授業に臨んでいたと考えられる。また、保育現場に携わっている立場の私が自習関連科目を受け持たせていただいていることも、学生にとっては授業内容を身近に捉え、上記のような評価を得たと考える。一方でシラバスや質問などについては、若干ポイントが低くなっているので改善を図る必要がある。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

シラバスは全ての学生が目を通すべきものでありながらも、実際はあまり読まれていないことも考えられる。科目の設計図のような役割を果たすのがシラバスであるため、初回授業時などに確認することも良いのではないかと考える。

また、質問などが適宜挙がり、学生や教員との対話が引き出されることをねらっていくことで、より主体的に学び、授業に取り組んでいくことが考えられるため、授業内の構成についても検討を続けていく。

授業科目名	保育実習指導Ⅱ
-------	---------

履修者数	18
------	----

有効回答数	16
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.94	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.94
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.94	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	4.94
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

他科目での学びを有機的に関連づけながら、実習の時期や子どもの発達に沿った指導計画を立案し実践する。保育者役として模擬保育をすることで保育者としての自分のありよう、一人一人を大切に保育、子ども主体の遊びの展開と環境構成について考察し、保育を改善していく視点を身に付ける。また、子ども役として模擬保育に参加することで、子どもの発達段階について理解を深め、子どもの視点から保育者の言動や保育環境を考察する視点を身に付ける。実習後は総括と評価を行い、自己の課題と保育者としての適正を考える。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

高い評価をもらったと思うが、アンケートでは把握できなかった授業に対する学生の思いがあると考え。そのような思いに常にアンテナを張りつつ、授業に取り組んでいきたい。一人一人の学生に30分という時間を与え模擬保育をするという本授業は、他科目での学びを相互的・総合的に結びつける授業として大変重要な授業である。自由記述において「実践がとても役に立った」というコメントがあったが、学生が本授業を通して保育・幼児教育への理解を深めていけるように、自分自身の保育を見る目を日々磨きたい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

学生の資質・能力による個別指導を今後も継続したい。

授業科目名	保育実習指導Ⅱ
-------	---------

履修者数	18
------	----

有効回答数	14
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.93	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.93	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.93	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.86
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.86
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.93	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.86
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.93	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.93	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.93
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.86	18	提出物の方法・期限を守った。	4.93
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.93	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.85

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

・保育所実習時に子どもの成長を理解した指導計画案の立案、報告・連絡・相談をし、模擬保育を実践するプロセスで本人が自己課題に気づくという目的である。科目の目的を理解し望んでいるがやや個人差がある。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

・指導案計画立案時の相談、準備の報告・連絡など学生同士、教員への相談など課題がある。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

・模擬保育終了後の反省についても個人差が大きいため反省の方法・振り返りの視点についての説明が必要である。

授業科目名	保育実習指導Ⅱ
-------	---------

履修者数	18
------	----

有効回答数	14
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.79	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.79
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.86	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.79
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.86	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.86	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.86	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.86	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.93
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.86	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.71	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.86	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.86	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.86

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

--

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

--

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

--

授業科目名	保育実習指導Ⅲ
-------	---------

履修者数	20
------	----

有効回答数	13
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.54	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.38
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.62	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.46
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.54	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.38
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.38	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.46
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.46	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.54
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.38	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.38
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.31	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.23
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.38	18	提出物の方法・期限を守った。	4.46
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.46	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.46
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.23	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.46

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

児童福祉施設等における実習の意義、目的の基本的理解、利用者の理解及び各専門職との連携についての理解等を目的とするが、結果の設問文及び総合的満足度からは、おおむね達成できたと考えている。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

学習内容の理解の手助けが他質問項目との比較においては少し低かったため、この点を改善したいと考える。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

わからないことに直接、面接の形態等で応じること、そして、わかりやすく伝えることをこころがけたいと考える。

授業科目名	保育実習指導Ⅲ
-------	---------

履修者数	20
------	----

有効回答数	13
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.54	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.38
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.62	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.46
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.54	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.38
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.38	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.46
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.46	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.54
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.38	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.38
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.31	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.23
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.38	18	提出物の方法・期限を守った。	4.46
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.46	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.46
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.23	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.46

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

保育実習指導Ⅲは、保育実習Ⅰ(施設)の実習を経験していない段階で選択している。そのため、実習の経験をふまえて保育実習Ⅲの実習を行うわけではない。1年次の保育実習Ⅰ、教育実習Ⅰにおける評価表での実習園からの指摘事項と、学生の自己評価をもとにしながら、保育実習Ⅲを選択した理由やこの実習で何をしたいのかを個別面談を実施し、より保育実習Ⅲへの動機づけを行えるようにする。さらに、児者の施設の種別や障害、利用者理解、施設の理解等ができるように、調べ学習を通して施設への理解を深められるようにする。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

学生には、実習経験がないまま授業を受けることになるので、施設や利用者に対するイメージを持つことが難しい面があった。できれば、実習前にボランティアを経験して、少しでも施設や利用者に対する偏見や先入観に囚われすぎることがないようにしたつもりであったが、不十分な点があったように思う。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

1年次の実習の評価表と自己評価をふまえた実習への動機づけと施設実習の意義と目的、施設や利用者の理解を見・者別に分かりやすく理解できるように工夫をするようにしたい。

授業科目名	教育実習 I AB
-------	-----------

履修者数	71
------	----

有効回答数	70
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.83	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.83
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.73	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.83
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.77	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.19
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.74	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.94
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.74	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.89
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.84	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.46
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.53	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.89
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.51	18	提出物の方法・期限を守った。	4.94
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.63	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.93
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.73	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.76

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

科目の到達目標は、①実習生(社会人)としての常識マナーを身につける、②実習生として積極的に子どもや実習園の保育者と関わり、実際の保育について理解を深める、③実習での経験を振り返って、次の実習につながる課題を持つ、である。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

概ね良好な評価と思われるが、問い7、問い8、問い13、問い16で評価が低めに出ている。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

問い7、問い8に関しては、実習に向けた授業ということもあり、日誌の書き方などかなり具体的な内容を含むため、学生にとっては難易度が高く感じることもあると思われる。今後は、よりきめ細かくこの学生の疑問等に対応したい。また、問い13、問い16に関しては、あらかじめシラバスを確認するよう促し、質問や自学を促すよう努めたい。

授業科目名	教育実習 I AB
-------	-----------

履修者数	71
------	----

有効回答数	70
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.83	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.83
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.73	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.83
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.77	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.19
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.74	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.94
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.74	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.89
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.84	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.46
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.53	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.89
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.51	18	提出物の方法・期限を守った。	4.94
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.63	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.93
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.73	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.76

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

6月実施の教育実習 I の実習日誌において、一人一人が実習前の授業をどの程度理解していたかを把握した結果、目標としては概ね、観察実習の姿勢は身に付けられた学生が多いと捉えている。しかし、誤字脱字・文章力・コミュニケーション力にかなりの課題があると感じた。授業以前の課題といえども、この実態を考慮して、学生一人一人の理解を深められるような授業の進め方を考える必要がある。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

6月実施の教育実習 I の実習日誌において、一人一人が実習前の授業をどの程度理解していたかを把握するようにしている。保育に対するイメージのない中、入学して2ヶ月で実習に出さなければならないことに困難を感じる。特にAO入試で入学してきたことが直接の要因とはいえないが、言語力・理解力・応用力に課題があると感じている。学生をもう少し長い目で見守り、実習を重ねながら保育・教育の意味や意義を感じられるような授業を考えていく必要がある。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

他の先生方との連携を深め、学生一人一人の特性や理解につなげていくことが必要である。毎回講義内容を学生の反応や日誌記入演習も含めて読み取り、授業反省を行い、次の授業に活かしていく。保育の具体例をできるだけ加え、保育へのイメージができるようにする。

授業科目名	教育実習Ⅱ
-------	-------

履修者数	18
------	----

有効回答数	14
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.79	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.93
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.93	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.79
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.93	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.86
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.86	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.93
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.86
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.79	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.93
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.93	18	提出物の方法・期限を守った。	4.86
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.93	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.93
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.86	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.93

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

・科目の目的、全体の流れについては見通しを持ちシラバス含め別紙にて説明を行った。指導案立案指導・報告・連絡・相談を含めた指導を実施した。その結果、模擬保育の内容、子ども役の反応も意識した参加となっていた。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

・科目の目的、全体の流れについては見通しを持ち説明をするが、模擬保育の内容については個人差が大きい。
 ・時間の使い方についても様々で、活動の内容が濃いために最後の感想を聞けないこともあった。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

・模擬保育を担当する学生の準備、時間配分を含め最後のまとめを工夫する必要性を感じている。

授業科目名	教育実習Ⅱ
-------	-------

履修者数	18
------	----

有効回答数	14
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

授業(実習)の到達目標は、1年次の実習を踏まえた上で社会人らしく振る舞い、子どもや保育者と関わりながら日々の保育を記録し、自ら指導計画案を作成し、保育を実践した上で自らの課題を見いだすことである。そのために、事前指導として、指導計画案の作成方法を学び、実際に作成した上で模擬保育の実践を行う。事後指導として、必要に応じて適宜個別面談の時間を設け、実習のふりかえりと行い自らの課題を把握する。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

概ね良好の評価と思われる。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

担当学生が少ないこともあり、個々の学生にきめ細かく対応したつもりである。今後も継続していきたい。

授業科目名	教育実習Ⅱ
-------	-------

履修者数	18
------	----

有効回答数	16
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.94
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.94	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.94
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.94	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.94
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.94	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.94
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.94	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.94
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.94	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.94
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.94	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.94
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.94	18	提出物の方法・期限を守った。	4.94
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.94	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.94
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.94	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.94

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

--

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

--

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

--

授業科目名	教育実習Ⅱ
-------	-------

履修者数	17
------	----

有効回答数	17
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	5.00
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	5.00
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	5.00	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	5.00
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	5.00
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	5.00	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	5.00	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	5.00

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

担当学生が少なくなったことから、模擬保育実施後の学生どうして発言し合う時間をいつもより長くもつことができた。自分の保育実践だけでなく、他学生の保育の深く理解する機会になっていたと考える。指導計画案作成に対しても、一人一人の学生に納得いくまで指導できたことは、教育実習Ⅱでも活かされたと考える。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

学生の人数が多くなったとしても、きめ細かな指導は必要であると考え。丁寧に学生に関わることを今後も心掛けていきたい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

同上。

授業科目名	幼児教育教材研究
-------	----------

履修者数	70
------	----

有効回答数	59
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.97	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.95
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.98	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.98	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.93
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.95
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.98	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	5.00	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.98
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.95
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.98	18	提出物の方法・期限を守った。	4.98
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.98	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.98
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.98	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.98

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

紙素材に親しみ、加工の仕方や道具の扱い方など保育者として必要な知識と技術を習得する。模擬実践を通して、子どもの視点や立場から保育者の言動や保育環境のあり様を検討し、課題の改善する力を養う。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

比較的高い評価をもらったと思うが、アンケートでは把握できなかった授業に対する学生の思いがあると考え。そのような思いに常にアンテナを張りつつ、授業に取り組んでいきたい。素材や物に触れ合う。素材に適した道具を使用する。製作に必要な個数や形を数学的に捉えながら活動をする。完成品の綺麗さと効率を考えながら活動するなどは本授業で学生に身に付けて欲しい事柄であるが、日々の体験不足からこのようなことを身に付ける(体験する)ことが困難な学生が増える。教師のより丁寧な支援・指導が求められていると考えている。模擬保育実践は時間の関係で、三人程度で保育者役になるかたちで実施している。保育者役として中心的に子どもの前に立つ学生だけでなく、補助保育者役の学生も、自分の役割を意識しながら模擬保育実践に取り組めるよう指導していきたい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

次年度は保育において子どもが様々な道具を使うことの意味や道具の使い方をより丁寧に伝えたい。チームで保育を行うという意識を持ちながら模擬保育に取り組み、他の保育者役の学生と協力して保育を進めていくことの大切さについて学生の理解を深められるようにしたい。

授業科目名	幼児教育教材研究
-------	----------

履修者数	70
------	----

有効回答数	60
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.95	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.98
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.97	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.98
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.98	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.92
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.98	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.90
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.95	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.95
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.97	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.93
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.97	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.95
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.98	18	提出物の方法・期限を守った。	4.95
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.98	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.97
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.98	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.98

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

幼児教育教材研究の1コースとして、野菜づくりコースを担当する。授業の概要は、野菜を育てる経験や土・植物をテーマとした保育アイテム作りを通して自然界に親しみ、保育実践の幅を広げる。野菜栽培を記録したレポート作成や土・植物をテーマとした保育アイテムの作成の指導案を作成する。授業科目の到達目標は①野菜の生育状況の把握や生育に必要な知識を実践を通して習得する ②土や植物をテーマとした保育アイテムの知識と技能の習得及びそれに伴う指導案の考察

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

今回の評価の数値が4.90～4.98という数値であった。昨年は4.70～4.86という数値であり、0.1ポイント以上高い数値であり、今後もこの数値を維持していきたいと思う。特に昨年少かった13.履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。という項目が4.70であり、ガイダンス時や授業開始時に意識的に授業の目的に触れて話すことから授業を開始したことが大きく影響したのではないかと考えられる。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

今回の評価の数値が4.90～4.98という数値であった。昨年は4.70～4.86という数値であり、0.1ポイント以上高い数値であり、今後もこの数値を維持していきたいと思う。特に昨年少かった13.履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。という項目が4.70であり、ガイダンス時や授業開始時に意識的に授業の目的に触れて話すことから授業を開始したことが大きく影響したのではないかと考えられる。なお指導案の作成の要領を伝えることができたことも昨年度よりも評価が上がった要因ではないかと考えられる。

授業科目名	幼児教育教材研究
-------	----------

履修者数	70
------	----

有効回答数	61
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	5.00	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.97
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	5.00	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.98
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	5.00	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.92
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.93
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.98	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.95
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.98	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.95
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	5.00	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.95
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.98	18	提出物の方法・期限を守った。	4.95
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.98	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.97
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.98	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.98

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

一年次に修得したパソコン技術の復習と保育現場での応用を意図して、お絵かき、イラストを活用したポスターの作成、おたよりの作成、紙芝居の作成と実演をおこなっている。基礎的な操作の修得ができていない学生も、創造性を発揮しておたよりや紙芝居の作成をおこなっていた。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

そうじて結果が高いと思われる。3人でのオムニバスであり、アンケートへの記入のタイミングが、授業が終わってから10週経ってからのものもいて、なかには適当に答えているものもいるのではないかと思えるほど、結果が高いと思われる。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

とりあえずは、現在の結果を落とさないように、進めていくこととする。

授業科目名	コンピューター基礎
-------	-----------

履修者数	35
------	----

有効回答数	33
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.75	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.70
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.73	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.81
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.73	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.52
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.76	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.82
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.55	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.85
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.79	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.91
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.76	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.73
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.58	18	提出物の方法・期限を守った。	4.85
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.81	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.91
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.72	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.82

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

MicrosoftのWord, Excel, PowerPointの操作の修得と、タイピングや情報リテラシーなどの情報機器の操作する上で基本となる技能や知識の修得を目指した授業内容となっています。情報機器の操作を修得することができている学生もいれば、とりあえずは課題ができているという状態で、修得といえるところまではいっていない学生もいたかと思えます。タイピングの速度や集中力に差があり、思うようには達成できていないと思えます。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

5点満点であろうと思うので、総じて高い点となっているが、学生たちが概ね適当に4か5でつけているのではないかと疑いがある。その中で、少しであるが、時間配分が適切でないという指摘がある。学生の能力の差ということも考えられるが、課題の量にアンバランスがあるという点も少なからず原因と考えられる。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

30回の日程に収まるように調整しつつ、課題の量を考慮しつつ時間配分に気をつけて進行するようにする。

授業科目名	コンピューター基礎
-------	-----------

履修者数	35
------	----

有効回答数	30
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.97	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.87
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.97	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.87
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.97	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.43
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.93
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.97	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	5.00
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.93	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.83
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.70	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.90
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.70	18	提出物の方法・期限を守った。	4.97
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.90	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.90
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.73	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.93

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

達成目標は、Word、Excel、PowerPointの基本操作を習得する。授業内容については前期はWordとPowerPointの使い方、後期はExcelの操作を覚えることであった。特に問題なく一年間各自が基本的な操作を習得したように思う。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

通年を通して各自が真剣に取り組んでおり、課題も提出状況は良好であった。学生の質問には適宜対応していたつもりではあるが、次年度はさらに意識して授業を展開していきたい。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

センターモニターで丁寧に解説する。学生の状況確認の見回り回数を増やす。

授業科目名	レクリエーション概論
-------	------------

履修者数	53
------	----

有効回答数	52
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.88	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	4.80
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.76	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	4.85
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.78	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.59
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	4.84	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.87
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.76	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.82
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.86	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.65
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.80	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	4.60
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	4.75	18	提出物の方法・期限を守った。	4.73
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.75	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	4.76
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.76	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.83

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

レクリエーション活動の実施にあたり、以下を学生の到達目標とした。

- ・集団をリードし、一体感を生み出し、楽しい時間を演出するための基礎的な知識が身についている。
- ・1対1、1対集団、小集団対小集団といった場面でコミュニケーションを促進するための基礎的な知識が身についている。
- ・対象や支援の目的に合わせたプログラムを企画・展開するための基礎的な知識が身についている。
- ・対象者の主体性や協調性を引き出すための基礎的な知識が身についている。

本授業はレクリエーションに関する基礎及び指導・援助の理論を学修することによりレクリエーション支援者としての能力を高めることを目的としている。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

自由記述欄に「自己評価用紙(まとめの小テスト)の解答欄の幅が狭い」との指摘があった。20項目の設問に対し、1～12及び20の平均値は4.7以上であった。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

数年、授業評価は安定した数値結果を得ている。自由記述に留意し、さらなる改善に努めたい。

授業科目名	レクリエーション実習Ⅱ
-------	-------------

履修者数	48
------	----

有効回答数	44
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.91	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.93	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.98	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.89
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.95
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.95	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.98
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.91	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.98
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.98	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	4.98
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.98	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.98	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.98

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

授業科目の到達目標

- ・集団をリードし、一体感を生み出し、楽しい時間を演出するための基礎的スキルが身についている。
- ・1対1、1対集団、小集団対小集団といった場面で、コミュニケーションを促進するための基礎的スキルが身についている。
- ・対象や支援の目的に合わせたプログラムを展開するための基礎的スキルが身についている。
- ・既存のアクティビティへとアレンジするための基礎的スキルが身についている。
- ・対象者の主体性や協調性を引き出すための基礎的スキルが身についている。
- ・福祉施設や保育所・幼稚園など現場に応じたレクリエーション活動を企画・運営する基礎的知識・スキルが身についている。

本授業は遊びの援助(レクリエーション支援)を行う上で必要となるコミュニケーション技法や集団を対象としたレクリエーション活動の展開法を身につける ことにより保育者としての援助力を高めることを目的としている。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

自由記述は少ないが、肯定的なコメントのみであった。

1から20の項目は、4.89 以上の数値となっており、大きな問題点・課題はないとみている。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

個々の学生にとって到達目標が達成されるよう、学生とのコミュニケーションに留意し授業を展開していきたい。

授業科目名	レクリエーション実習Ⅱ
-------	-------------

履修者数	48
------	----

有効回答数	44
-------	----

No.	設問文	平均	No.	設問文	平均
1	この授業科目は、開始・終了時間が守られていた。	4.91	11	授業中の私語を注意するなど学習に集中できる環境に配慮していた。	5.00
2	この授業のシラバスの記述・説明は適切であった。	4.93	12	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	5.00
3	シラバス(授業内容や課題)に沿って授業が行われた。	4.98	13	履修登録の際に、この科目のシラバスをよく読んだ。	4.89
4	この授業科目の評価方法は明確に示されていた。	5.00	14	この授業科目において、遅刻・欠席をしないように努めた。	4.95
5	授業内容の組み立て方や時間配分が適切であった。	4.95	15	この授業科目に必要な準備(テキスト・用具等)は適切だった。	4.98
6	教材・テキスト等は適切であった。	4.91	16	わからないことは、質問したり調べたりして解決に努めた。	4.98
7	学生からの提出書類や質問等に、適切に対応していた。	4.98	17	私語や居眠り等をせず、この授業を聞いた。	5.00
8	授業は分かりやすく学生の理解力に合わせて進めてくれた。	5.00	18	提出物の方法・期限を守った。	4.98
9	言葉遣いは正確明瞭で、声の大きさや話の速さなども適度で聞きやすかった。	4.98	19	この授業をとおして視野が広がったという実感がある。	5.00
10	適宜に適切な板書・模範演奏・演技・制作補助等を行って学習内容の理解を助けてくれた。	4.98	20	*この授業科目は、総合的に満足している。	4.98

■アンケート結果の考察

1. 科目の目的(達成目標)と授業内容

「No4, No8, No11, No12, No17, No19」の6項目で「5.0」という評価であることから、科目の目的は十分に達成できたと感じる。

2. アンケート調査表の結果と問題点の考察

今回のアンケート結果からは、問題点は特に見当たらない。

3. 改善の方策(前回の学生アンケート調査の結果を踏まえて努力あるいは改善された事項を含む)

このアンケート結果からは、特に改善すべき点は見当たらないが、しいてあげればシラバスをよく読んだという学生「No.13」が「4.89」であるので、次年度はこれを更に徹底させたい。